

平成 23 年

消 防 年 報



平成24年刊行
福知山市消防本部

は し が き

この年報は、福知山市の消防現勢及び平成２３年中の消防行政に関する実態を統計的に集録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く紹介するため編集したものです。

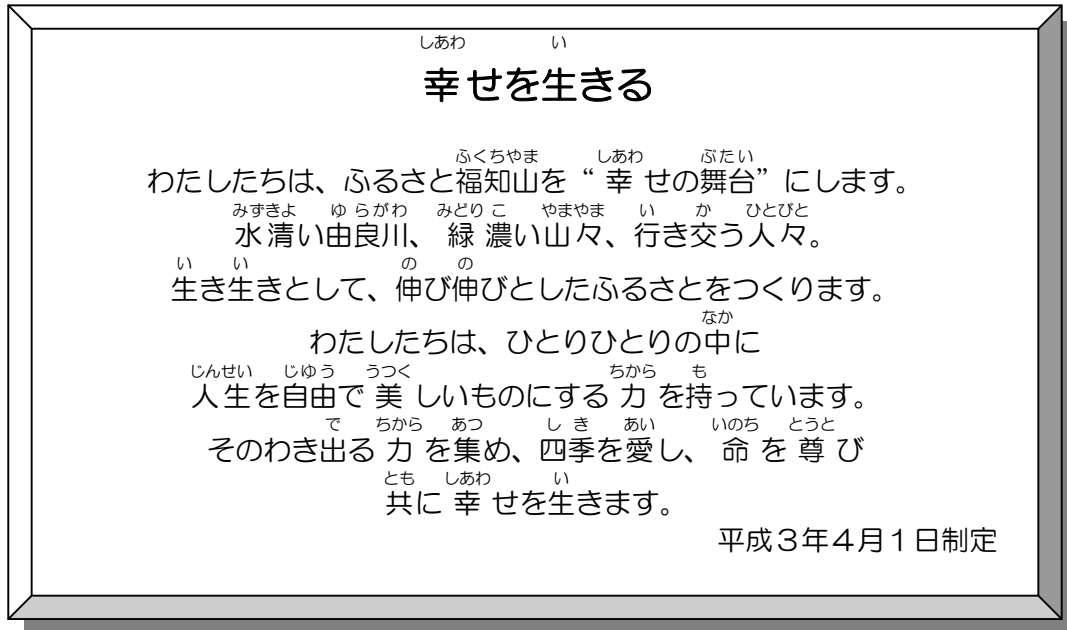
この年報により、本市の消防業務を御理解いただき、なお一層の御指導と御支援をいただきますようお願い申し上げます。

この年報のうち、予算関係は会計年度とし、それ以外のものについては、当該表に記載した年月日によるものです。

平成２４年９月

福知山市消防本部

福知山市市民憲章



市 民 憲 章 と は

毎日の生活の中で、福知山市民一人ひとりの心のよりどころとなり、行動の礎になるよう定められた市民生活の規範となるものです。

この憲章には、よりよい地域づくり、魅力あるふるさとづくりのため、市民一人ひとりが、互いに助け合い思いやりあるあたたかいまちづくり、文化の香り高い魅力的なまちづくりをすすめる願いがこめられています。

憲 章 文 の 解 説

“幸せ”とは何か。“わたし”は、どんな時、幸せを感じますか。どうすれば“みんな”が幸せを感じることができるでしょうか。幸せづくりについて考え、語りあい、励ましあって行動する、これがこの憲章文のテーマです。

まず、自分の人生を自由で美しいものにできるわたしから、幸せづくりをはじめましょう。そして、その幸せづくりを身近な人たちと一緒にあって広げましょう。一人ひとりから家族へ、地域へ、そして市全体へ、幸せづくりの輪を広げていきましょう。

そうすることが、みんなが“幸せを感じるまち”につながります。また、“みんなが誇れるまち”につながっていきます。

まずは、わたしから、身近なことから、幸せづくりをはじめましょう。



福 知 山 市

目 次

総 務

市 勢	1
管内の情勢	2
福知山市位置・管内案内図	3
消防機構	4
消防庁舎の概要	4
消防の沿革	5
消防予算	11
消防職員の定員及び現在員数	12
消防職員の配置表	12
消防職員階級別年齢状況	13
消防職員階級別勤続年数	13
事務分掌	14
消防相互応援協定の締結状況	16

警 防

消防本部・署別消防自動車現勢一覧	17
消防水利の状況	18
火災概要	19
累年火災比較（10年間）	20
署・分署別火災発生状況	21
地区別火災発生状況 1	22
地区別火災発生状況 2	23
月別火災発生状況 1	24
月別火災発生状況 2	25
曜日・時間別火災発生状況	26
曜日・時間別火災発生状況グラフ	27
気象別火災発生状況	28
火災原因別調べ	29
救急概要	30
署・分署別救急活動状況	31
月別救急活動状況	32
時間別事故種別搬送人員	33
年齢区分別事故種別搬送人員	34
傷病程度別性別事故種別搬送人員	35
傷病程度別年齢区分搬送人員	35
救急講習実施状況	36
過去10年間における救急出動の推移	37
救助概要	38
救助活動のための機械器具等の保有状況 1	39
救助活動のための機械器具等の保有状況 2	40

予 防

防火対象物の状況	41
建築同意事務署・分署別件数	42
建築同意事務業態別棟別件数	42
消防用設備等検査状況	43
危険物施設の状況	44
危険物申請の状況	45
危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱の数	45
手数料徴収状況	45
火災予防条例等各種届出件数	46
立入検査実施状況	46
防火指導状況	47
広報活動状況	47
幼年消防クラブ活動状況	48

通信指令室

覚知別集計	49
署・分署別指令状況	50
月別指令状況	50
ドクターヘリ要請件数	50
消防通信施設の現況	51
消防通信指令系統図	52

消 防 団

消防団の沿革	53
消防団員・消防団車両配置表	57
年齢別消防団員数	58
在職年数別消防団員数	58

水 防

水防の概要	59
水防組織と機構	60

消防トピックス

～3つの機能を備える、福知山市の消防・防災の拠点～ 福知山市消防防災センター（平成24年5月1日運用開始）	61
--	----

総

務



市 勢

【位 置】

福知山市は、京都府の北西部、由良川が貫流する福知山盆地の中央に位置し、丹波・丹後・但馬により形成される「三たん地域」の中央部にあります。また、京都市・大阪市及び神戸市から70km前後のほぼ等距離にあつて、JR山陰本線・福知山線及び北近畿タンゴ鉄道（KTR）宮福線並びに舞鶴若狭自動車道、国道9号・175号・176号・426号・429号など広域幹線交通網の結節点となっており、京阪神と山陰・丹波地方を結ぶ北近畿の玄関口としての立地条件にあります。

【沿 革】

福知山市は、旧石器時代・縄文時代草創期などの遺跡が多数あり、この地方に人が住み始めた歴史が古いことを物語っています。

当地方は、京の都に近い関係もあり、古代から戦国時代にかけて中央の政変に大きな影響を受け、当地の歴史にもかなりの興亡のあとがみられます。

天正7（1579）年に明智光秀が丹波を平定し、福知山はその頃より城下町としての形態を整え、その後、明治4（1871）年の廃藩置県まで、300年近く城下町として繁栄しました。

明治に入り、22年には町村制の施行に伴い福知山町が誕生し、31年には歩兵20連隊が設置され軍都としての性格を強める一方、32年には大阪～福知山間、43年には京都～福知山間に鉄道が敷設されて北近畿の交通の要衝となり、商都としての発展をみました。

そして、昭和12年には府下で2番目に市制を施行するとともに、昭和18年には由良川改修工事が起工、昭和24年には旧電電公社の福知山電報電話局が開局、さらにその翌年には旧国鉄の福知山鉄道管理局が開局、警察予備隊（現在の陸上自衛隊）が駐屯を開始するなど、本市の骨格形成が進みました。

その後、本市発展の上で最大の課題である由良川等の河川改修と並行して、逐次都市整備が進められ、昭和49年には、内陸工業団地としてはわが国有数の規模を誇る長田野工業団地が完成し、新たな産業発展の基盤が形成されました。

また、近年では、阪神地域と北近畿地域を結ぶ舞鶴若狭自動車道が本市を經由するとともに、北近畿タンゴ鉄道（KTR）宮福線・宮津線の福知山～天橋立間の電化・高速化、JR福知山線の新三田～篠山口間の電化及び複線化、JR山陰本線の園部～福知山間の電化・高速化、国道9号線土師バイパスの建設などにより広域交通網の整備が飛躍的に進展し、さらに岡・駅南地区の国道9号線拡張に着手することにより北近畿の交通の要衝としての位置付けを一層高めつつあります。

一方、こうした広域交通体系の整備と併行して、土地区画整理事業や下水道事業・都市計画道路等の整備を先進的に進めており、福知山駅周辺地域については、新しい都心地区の形成を目指した鉄道の高架と駅南北の区画整理事業、市民の命と健康を守る拠点施設である市民病院の全面

改築など、積極的な都市基盤の充実を図るなか、中心市街地においては、鉄道をテーマに活性化に向けたまちづくりに取り組んでおり、また北近畿初の4年制大学である京都創成大学（現成美大学）の開学をはじめ、文化・スポーツ・レクリエーション活動の拠点となる三段池カルチャーパークや福知山城を中心とした公園の整備に取り組んでいます。

さらには、地球規模で進む環境問題に対応するため循環型社会の構築を目的に、「リサイクルプラザ」を本格的に稼働させ、資源ゴミの循環的な再利用、環境保全の推進に取り組んでいます。

福知山市は、平成18年1月1日に三和町、夜久野町及び大江町と合併、新しい「福知山市」として6年が経過し、自然に包まれ人々で賑わい、心豊かに暮らすことのできる『北近畿をリードする 創造性あふれるまち』として、ここに生きるすべての人がそれぞれの暮らしを通じて、ふるさと福知山を『幸せを生きる』舞台として実感できるまちづくりを推進しています。

また、防災面では、『消防機能』の他『市民防災研修機能』『災害対策機能』を併せ持つ消防防災の拠点施設『福知山市消防防災センター』を整備、平成24年5月1日より運用を開始しており、『いのちと暮らしを守るやすらぎのまち』を創るため、過去の災害を忘れず、市民のみなさんとともに災害に強いまちづくりを推進しています。

管内の情勢

（平成24年4月1日現在）

	面積（k㎡）	人口（人）	世帯数（世帯）
福知山市	552.57	81,391	35,072
消防職員一人あたりの割合（職員数117人）	4.72	695.65	299.76

周囲（km）	広ぼう（km）		海拔（m）		市役所の位置	
	東西	南北	最高	最低	東経	北緯
174.2	37.1	34.3	839.17	7.11	135°07′	35°17′

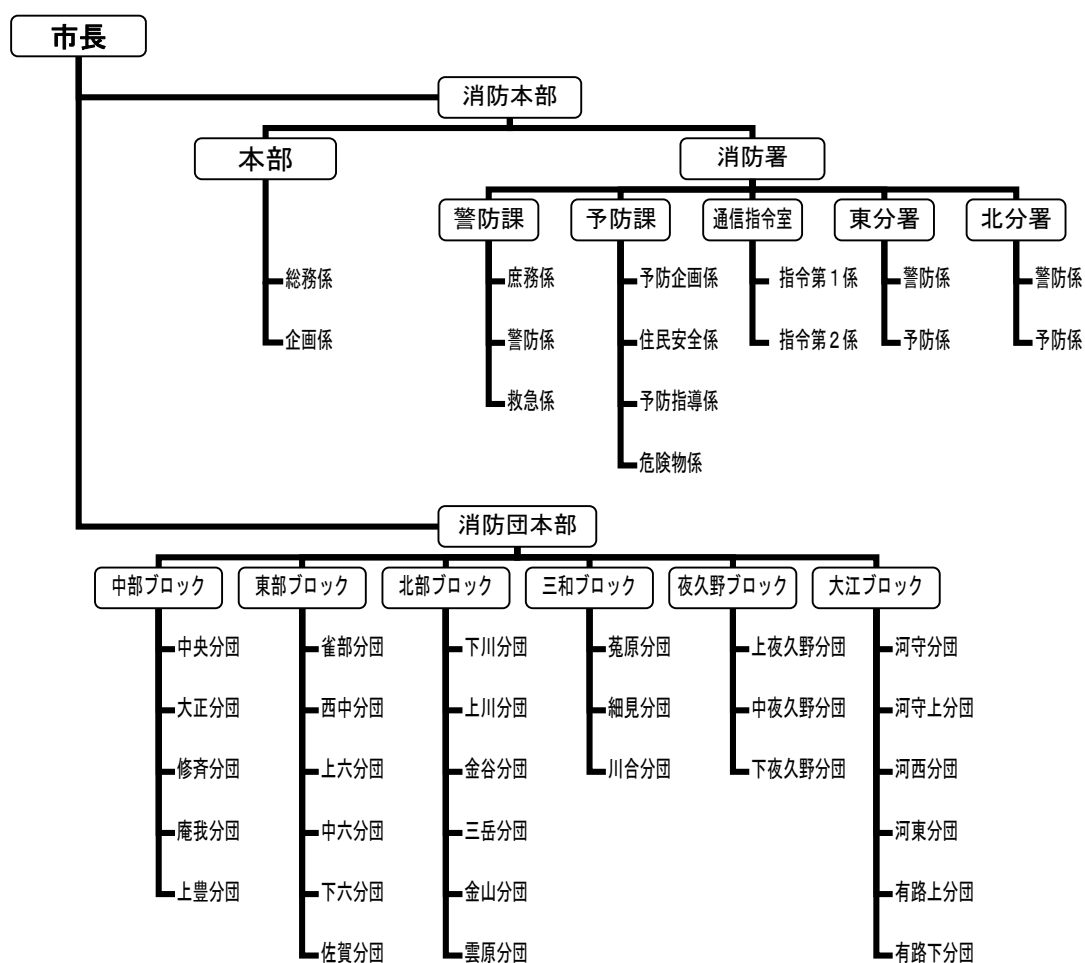
市の木	市の花	市の鳥	キャラクター
ケヤキ カシ ヒノキ 梅	サツキ キキョウ ハギ レンゲツツジ 藤	ウグイス キジ	ドッコちゃん  酒吞童子 

福知山市位置・管内案内図

面積	552.57 km ²
周囲	174.20 km
海拔	839.17 m (最高) 7.11 m (最低)
総人口	81,391人
世帯数	35,072世帯
(人口・世帯数は平成24年4月1日現在)	



消防機構



消防庁舎の概要

	所在地	構造等	敷地面積	建築年月	その他
福知山市消防本部	福知山市東羽合町 46 番地の 1 福知山市 消防防災センター	庁舎棟 鉄骨造 2 階建 延 3,109 m ² (訓練棟他付属 建物を含むと 4,157 m ²)	25,149 m ²	H24. 3	訓練棟 (鉄筋 コンクリート造 3 棟) 防災広場
福知山消防署					
指令センター					
防災センター					
福知山消防署 東分署	福知山市長田野町 三丁目 12 番地の 2	鉄筋コンクリート造 2 階建 延 772. 82 m ²	25,235 m ²	S56. 9	訓練場 訓練塔
福知山消防署 北分署	福知山市字牧 471 番地の 1	鉄筋コンクリート造 2 階建 延 419. 81 m ²	1,710 m ²	S56. 9	

消防の沿革

(平成24年5月1日)

○昭和23年	1月6日	中ノ町に福知山市消防団常置消防部を設ける
"	7月4日	ポンプ車2台 定員15名 職員4名増員 実員19名
○昭和24年	5月31日	職員6名増員 実員25名
"	8月18日	福知山市消防本部を設置し、庶務・予防・消防の3係を置く
"	12月15日	2,000ℓ水槽付ポンプ車を購入配置
○昭和25年	8月19日	小牧大火 集落の3分の1、16戸全焼 (2,300㎡)、損害額12,437千円
"	11月23日	指令車(トヨタクラウン)を購入配置
"	12月20日	1,500ℓ水槽付ポンプ車を購入配置 タンク車2台、普通ポンプ車1台
○昭和26年	4月11日	職員7名増員 実員32名
○昭和28年	9月25日	台風13号襲来 由良川水位8.1mに達し市街地全域が水没し、死者4名、重軽傷者788名、家屋の流失55戸、家屋の全壊428戸、半壊1,181戸、床上浸水3,641戸(内2階浸水3,202戸)、床下浸水195戸、その他被害総額6,649,424千円
○昭和29年	4月1日	職員2名増員 実員34名
○昭和30年	1月1日	消防本部に消防署を併設 1署3係
"	4月1日	上六人部、中六人部、下六人部、上川、金谷、三岳、金山、雲原の8ヶ村合併により、面積254.93k㎡、人口約61,000人
○昭和31年	3月31日	ジープ型ポンプ車を購入配置 国消FM-1型無線を配置
"	9月30日	佐賀村分村合併により、面積264.24k㎡、人口63,220人
○昭和34年	9月26日	伊勢湾台風 由良川水位7.1mに達し、重軽傷者26名、家屋の流失4戸、全壊6戸、半壊103戸、床上浸水3,473戸、床下浸水1,644戸、その他被害総額1,164,566千円
○昭和35年	3月5日	普通ポンプ車を購入配置(更新)
○昭和36年	9月16日	第二室戸台風 瞬間最大風速43mを記録し、死者3名、重軽傷者6名を出し、家屋の全壊9戸、半壊67戸、その他被害総額162,482千円
○昭和37年	5月8日	内記五丁目大火 全焼12戸、半焼3戸、部分焼6戸、農機工場より出火、焼失面積2,393㎡、損害額23,911千円
"	8月1日	技術吏員1名増員し、危険物規制事務開始 実員35名
"	11月20日	福知山市字天田小字中長戸76番地に、鉄筋コンクリート2階建庁舎を建設し業務を開始 現在に至る
"	12月20日	日本損害保険協会よりポンプ車の寄贈を受ける
○昭和40年	3月31日	小牧大火 全焼7戸、部分焼2戸、焼失面積782㎡、損害額8,732千円
○昭和42年	12月4日	消防法の改正に基づき、救急業務を開始(救急車を購入配置) 職員4名増員 実員39名

○昭和45年	3月4日	大槻内科医院より自動二輪車4台寄贈を受ける
"	4月1日	職員1名増員 実員40名
"	11月13日	大型ポンプ車を購入配置（更新）
○昭和46年	4月1日	職員3名採用 実員40名
○昭和47年	3月15日	日本自動車工業会より大型救急車の寄贈を受ける
○昭和48年	10月1日	職員3名増員 実員43名
"	12月13日	新町大火 全焼13戸、半焼2戸、部分焼8戸、り災世帯10世帯、り災人員43名、焼失面積1,929㎡、損害額60,708千円 消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入配置（更新）
○昭和49年	2月13日	内記六丁目大火 全焼6戸、半焼1戸、部分焼1戸、り災世帯8世帯、り災人員35名、死者1名、負傷者2名、焼失面積730㎡、損害額28,130千円
"	4月1日	消防職員7名増員 実員50名
"	5月10日	日本損害保険協会よりタンク車の寄贈を受ける
"	5月23日	指令車（トヨタクラウン）を購入配置（更新）
"	7月1日	本部機構改革、2課5係
○昭和50年	2月27日	化学車（Ⅲ型）を購入配置
"	4月1日	消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入配置（更新） 消防職員4名増員 実員54名
○昭和51年	2月6日	農協共済より救急車（2B）の寄贈を受ける
"	5月13日	内記四丁目大火 全焼7戸、部分焼3戸、り災世帯7世帯、り災人員20名、焼失面積1,267㎡、損害額19,793千円
"	6月14日	消防本部、団本部を新市庁舎へ移す
"	7月1日	消防職員3名採用（内1名増員） 実員55名
○昭和52年	4月1日	消防職員1名増員 実員56名
"	7月19日	指揮車（ニッサンセドリックバン）を購入配置
○昭和53年	4月1日	消防職員3名採用 実員56名
"	10月1日	消防職員2名増員 実員58名
○昭和54年	3月26日	原動機付自転車2台を購入配置
"	3月31日	福知山消防署庁舎改修
"	8月1日	林野火災用小型ポンプを購入配置
○昭和55年	1月23日	普通消防ポンプ自動車（BD-I型）を購入配置
"	3月11日	日本損害保険協会より救急自動車（3B）の寄贈を受ける
"	8月1日	消防職員3名採用 実員58名
○昭和56年	1月23日	一市三町広域消防調印式举行
"	3月9日	普通消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入配置（更新）
"	3月31日	救急車を購入配置する
"	4月1日	一市三町広域消防体制発足（事務委託方式） 消防職員21名増員 実員79名
"	9月11日	福知山市長田野町三丁目12番地の2 福知山消防署東分署庁舎完成 （RC造2階建延床面積772.82㎡） 福知山市字牧471番地の1 福知山消防署北分署庁舎完成 （RC造2階建延床面積419.81㎡）

○昭和 56 年	9 月 2 1 日	日本消防協会より救急車・広報車の寄贈を受け、北分署に配置
"	9 月 2 4 日	普通消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を 2 台購入、2 分署に配置
"	9 月 3 0 日	広報車を購入し、東分署に配置
"	1 0 月 1 日	2 分署開設し、業務開始（分署長以下 13 名×2 分署）
"	1 1 月 2 0 日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を購入配置（更新）
"	1 2 月 1 日	福知山ライオンズクラブから事務連絡車（スズキアルト）の寄贈を受ける
○昭和 57 年	3 月 2 4 日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、東分署に配置
"	4 月 1 日	消防職員 4 名増員 実員 83 名
"	1 2 月 1 1 日	はしご付消防ポンプ自動車（24m 級）を購入し消防署に配置
○昭和 58 年	3 月 3 1 日	小型動力ポンプ（Ｃ－Ⅰ級）を購入し、2 分署に配置
"	4 月 1 日	消防職員 2 名増員 実員 85 名
"	9 月 2 6 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）の寄贈を受ける
"	9 月 2 9 日	消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）を購入配置（更新）
○昭和 59 年	3 月 3 0 日	救助工作車を購入し、消防署に配置
"	3 月 3 1 日	指令車（ニッサンセドリック）、救急車（２Ｂ型）を購入配置（更新）
"	8 月 3 1 日	隣接 5 消防組合と消防相互応援協定を締結
○昭和 60 年	4 月 1 日	本部機構改正、3 係を置く 消防職員 4 名採用 実員 85 名
○昭和 61 年	3 月 4 日	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型Ａ級）を購入し、消防署に配置（更新）
"	3 月 5 日	消防庁長官表彰旗受賞
○昭和 62 年	1 月 1 7 日	日本自動車工業会より救急車（２Ｂ型・４WD）の寄贈を受ける
"	3 月 1 8 日	舞鶴自動車道、消防救急業務体制発足
"	4 月 1 日	消防職員 5 名増員 実員 90 名
○昭和 63 年	4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 91 名
"	5 月 2 4 日	2 時 3 6 分 西中ノ町建物火災、3 時 5 0 分 駅前町建物火災（道草横町）、 両火災で全焼 2 戸、半焼 5 戸、部分焼 3 戸、り災世帯 8 世帯、り災人員 23 名、 焼失面積 709 ㎡、損害額 47,302 千円
"	1 0 月 5 日	消防指揮車を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 元年	1 2 月 4 日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型・４WD）を購入し、消防署に配置（更新） 日本防火協会より広報車（ニッサンキャラバン）の寄贈を受ける
○平成 2 年	3 月 3 1 日	日本自動車工業会より救急車（２Ｂ型・４WD）の寄贈を受ける
"	4 月 1 日	消防職員 1 名採用 実員 91 名
"	5 月 1 日	消防職員 1 名増員 実員 92 名
○平成 3 年	4 月 1 日	消防職員 4 名採用 実員 92 名
"	6 月 2 5 日	ＪＲ福知山線「岡踏切」列車事故 重症者 3 名、中等症者 16 名、軽症者 290 名
"	8 月 2 0 日	北京都信用金庫より救急車（２Ｂ型・４WD）の寄贈を受ける
○平成 4 年	2 月 5 日	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型Ａ級）を購入し、東分署に配置
"	4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 93 名
"	1 0 月 1 6 日	福知山危険物安全協会より連絡車（三菱ミニカ）の寄贈を受ける
"	1 1 月 2 5 日	消防ポンプ自動車（ＣＤ－Ⅰ型・４WD）を購入し、消防署に配置（更新）

○平成 5 年	1 月 3 0 日	広報車（ニッサンセレナ）を購入し、北分署に配置（更新）
"	4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 94 名
"	4 月 2 6 日	国際ソロプチミスト福知山より救急車（2 日型）の寄贈を受ける
"	7 月 1 日	烏ヶ岳山頂消防無線基地局運用開始
"	7 月 1 日	職員定員 104 名とする
"	9 月 1 日	消防職員 4 名増員 実員 98 名
"	9 月 1 7 日	日本損害保険協会より化学車（Ⅱ型）の寄贈を受ける
"	9 月 3 0 日	広報車（トヨタマークⅡ）を購入し、東分署に配置（更新）
"	1 1 月 1 1 日	消防ポンプ自動車（C D－Ⅰ型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 6 年	4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 99 名
"	5 月 1 8 日	救急救命士 1 名資格取得
○平成 7 年	1 月 1 8 日	兵庫県南部地震による応援出動（～26 日）
"	1 月 2 3 日	指令車（トヨタクラウン）を購入し、消防本部に配置（更新）
"	2 月 1 4 日	消防団員に対する応急手当普及員講習開講
"	4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 2 名増員） 実員 101 名
"	5 月 1 2 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 2 名
○平成 8 年	1 月 2 2 日	消防ポンプ自動車（C D－Ⅰ型）を購入し、東分署に配置（更新）
"	3 月 1 1 日	高規格救急車を購入し、消防署に配置（高度救急業務運用開始）
"	4 月 1 日	消防職員 1 名採用 実員 101 名
"	4 月 3 0 日	本部・署機構改正 本部 2 係・署 2 課 1 室 6 係となる
"	5 月 1 7 日	査察車（トヨタカリブ）寄贈を受ける
"	1 1 月 1 4 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 3 名
"	1 2 月 3 日	消防署通信指令室併用福知山市防災センター増築工事着手
"		救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 4 名
○平成 9 年	4 月 1 日	消防職員 3 名採用 実員 102 名
"	5 月 1 9 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 5 名
"	5 月 2 6 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 6 名
"	1 0 月 1 2 日	自治体消防制度 50 周年、市制施行 60 周年記念行事（消防フェア福知山）開催
"	1 2 月 2 2 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 7 名
"	1 2 月 2 8 日	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、消防署に配置
○平成 1 0 年	3 月 3 日	福知山市防災センター竣工
"	4 月 1 日	消防緊急通信指令施設（Ⅰ型）運用開始
"		消防無線第 2 市波運用開始
"		携帯電話からの 119 番通報受信体制整備（代表受信消防本部）
"	5 月 2 5 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 8 名
"	8 月 2 7 日	北分署改修工事着手
"	1 1 月 2 6 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 9 名
○平成 1 1 年	4 月 1 日	消防職員 3 名採用 実員 102 名
"	5 月 1 4 日	本部・署機構改正 本部 2 係・署 2 課 1 室 2 分署 12 係となる
"	7 月 1 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 10 名
"	1 2 月 8 日	高規格救急車（ニッサンパラメディック）を購入し、北分署に配置
"		救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 11 名
○平成 1 2 年	3 月 7 日	消防広報誌「火の用心」創刊
"	4 月 1 日	消防職員 2 名採用 実員 102 名
"	5 月 1 6 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 12 名

○平成13年	1月22日	福知山市消防本部・福知山市消防団「ホームページ」を開設
"	3月1日	福知山市消防出初式「写真コンテスト」を始める
"	3月22日	消防資材搬送車（トヨタタウンエース）寄贈を受ける
"	3月23日	救助工作車を購入し、消防署に配置（更新）
"	11月20日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計13名
○平成14年	2月28日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ－A型）を購入し、消防署に配置（更新）
"	12月16日	はしご付消防ポンプ自動車（30m級水路付）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成15年	4月1日	消防職員2名（内1名救急救命士資格取得者）採用 実員102名 救急救命士 計14名
"	12月1日	消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成16年	2月23日	第1回自主防火・防災リーダー養成講座実施
"	4月1日	消防職員1名採用 実員102名 予防課に住民安全係を設置。本部2係、署2課1室2分署13係となる
"	4月2日	指揮隊車（ニッサンキャラバン）寄贈を受ける
"	5月12日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計15名
"	9月11日	「救急フェア」開催
"	10月20日 ～21日	「台風23号災害」半壊・一部損壊63戸、浸水家屋844戸 被害額4,421,498千円。由良川水位7.55mに達する
"	11月13日	IP電話（ケイオプティコム）からの119番通報受信開始
"	11月26日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計16名
○平成17年	2月14日	IP電話（日本テレコム）からの119番通報受信開始
"	3月29日	高規格救急自動車（ニッサンパラメディック）を購入し東分署に配置（更新）
"	4月1日	消防職員2名採用 実員102名
"	5月12日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計17名
"	6月11日	消防団緊急伝達システム 運用開始
"	8月29日	IP電話（平成電電）からの119番通報受信開始
"	10月1日	IP電話（KDDI）からの119番通報受信開始
○平成18年	1月1日	福知山市と三和町、夜久野町及び大江町が合併。広域受託消防体制を解消
"	1月10日	IP電話（NTT西日本）からの119番通報受信開始
"	2月2日	携帯電話119番通報 直接受信開始
"	4月1日	消防職員3名採用 実員104名
"	10月29日 12月21日	第1回自主防火・防災リーダー中級講座実施 IP電話（平成電電）からの119番通報受信終了
○平成19年	2月1日	消防ポンプ自動車（水槽付CD－Ⅰ型）を購入し、北分署に配置
"	4月1日	消防職員2名採用 実員103名
"	4月1日	予防技術資格者認定制度開始
"	10月1日	携帯電話・IP電話発信位置表示通知システム導入
"	10月14日	市制施行70周年、福知山市消防団発足60周年及び救急業務運用開始40周年 記念事業（消防防災フェア）開催
○平成20年	4月1日	消防職員5名採用 実員104名
"	9月3日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計18名
"	11月8日	住宅用火災警報器普及啓発キャラクター「予防戦士 ジューケイキマン」誕生
○平成21年	3月23日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し消防署に配置（更新）
"	4月1日	消防職員2名採用 実員104名
"	4月22日	救急救命士1名資格取得 救急救命士 計19名

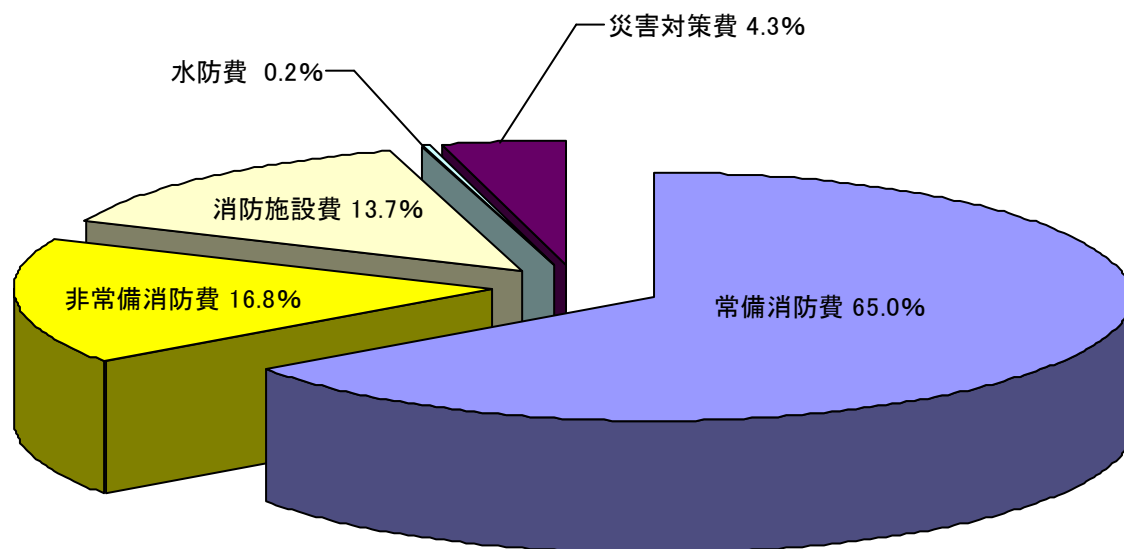
○平成 21 年	4 月 24 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 20 名
○平成 22 年	4 月 1 日	消防職員定数 130 名とする 消防職員 12 名採用 実員 110 名
"	4 月 13 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 21 名
"	4 月 17 日	公立豊岡病院ドクターヘリ運航開始
"	5 月 11 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 22 名
"	6 月 1 日	消防ポンプ自動車（CD-1 型）を購入し、東分署に配置（更新）
"	10 月 14 日	アステラス製薬株式会社より高規格救急自動車（トヨタハイメディック）の寄贈を受ける
○平成 23 年	3 月 1 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、東分署に配置（更新）
"	3 月 11 日	東日本大震災発生に伴い、緊急消防援助隊として出動（～4 月 2 日）
"	3 月 30 日	「福知山市消防防災センター」新築移転工事着手
"	4 月 1 日	消防職員 8 名（内 1 名救急救命士資格取得者）採用 実員 114 名 北分署に平成 22 年度寄贈の高規格救急自動車を配置 北分署救急 2 隊運用を開始する（分署長以下 22 名体制に増強）
"	4 月 12 日	救急救命士 2 名資格取得 救急救命士 計 25 名
"	6 月 17 日	「福知山市防災広場」工事着手
○平成 24 年	3 月 29 日	福知山市東羽合町 46 番地の 1 に、鉄骨造 2 階建庁舎「福知山市消防防災センター」竣工
"	3 月 30 日	「福知山市防災広場」竣工
"	4 月 1 日	消防職員 6 名採用（内 1 名救急救命士資格取得者） 実員 117 名
"	4 月 10 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 25 名
"	4 月 25 日	消防緊急通信指令施設を「高機能消防指令システム」に更新、運用開始
"	5 月 1 日	消防本部・消防署・消防団本部を福知山市東羽合町 46 番地の 1 「福知山市消防防災センター」に移す 「福知山市消防防災センター」及び「福知山市防災広場」の運用開始

消防予算（当初予算）

1 一般会計と消防予算

予 算 額（千円）					
年 度			平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	平成 2 2 年度
一般会計予算			37,690,000	39,600,000	40,130,000
消防費予算			1,414,269	2,603,067	2,090,721
比			3.8%	6.6%	5.2%
内 訳	常備消防費		919,792	922,286	878,259
	非常備消防費		237,377	204,874	235,157
	その他	消防施設費	194,093	1,445,193	916,838
		水防費	2,514	2,507	1,734
		災害対策費	60,543	28,207	58,733

2 平成 2 4 年度 消防予算の内訳



消防職員の定員および現在員数

(平成24年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
定員	条例定数								130
実員	1	2	20	25	23	4	41	1	117

消防職員の配置表

(平成24年4月1日)

		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
合計		1	2	20	25	23	4	41	1	117
消防本部	消防長	1								1
	次長		1							1
	参事			1						1
	総務係				1			1	1	3
	企画係				1	2				3
消防署	署長		1							1
	警防課	課長		1						1
		参事		1						1
		課長補佐		1						1
		当直司令		2						2
		警備班長			2					2
		庶務係			2		1	1		4
		警防係		1	2	3		1		7
		救急係			1	2		3		6
	予防課	課長		1						1
		参事		1						1
		課長補佐		1						1
		予防企画係			1	1		1		3
		住民安全係			1			3		4
		予防指導係		1		2		2		5
		危険物係		1		2		2		5
	通信指令室	室長		1						1
		指令第1係		1		2		1		4
		指令第2係		1	1	1		1		4
東分署	分署長			1						1
	警備班長			1	1					2
	警防係			1	2	1	1	4		9
	予防係			1	1	3	1	5		11
北分署	分署長			1						1
	警備班長				2					2
	警防係				4		1	6		11
	予防係				3	4		3		10
初任教育入校								7		7

消防職員階級別年齢状況

(平成24年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
20才未満							2		2
20才以上 24才以下							16		16
25才以上 29才以下							18		18
30才以上 34才以下					2	2	4		8
35才以上 39才以下				2	15		1		18
40才以上 44才以下				5	3	1		1	10
45才以上 49才以下				7	3	1			11
50才以上 54才以下	1	1	13	9					24
55才以上		1	7	2					10
合計	1	2	20	25	23	4	41	1	117
平均年齢	54.00	56.00	53.90	47.96	38.57	38.00	23.34	41.00	

消防職員階級別勤続年数

(平成24年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
5年未満			1				33		34
5年以上 10年未満					1	1	7	1	10
10年以上 15年未満					4	1			5
15年以上 20年未満					12	1	1		14
20年以上 25年未満				7	4				11
25年以上 30年未満			1	10	2	1			14
30年以上	1	2	18	8					29
合計	1	2	20	25	23	4	41	1	117
平均勤続年数	31.00	32.50	29.85	26.64	17.48	16.00	2.95	5.00	

事務分掌

【消防本部事務分担当表】

- 1 公印の管守及び文書の收受発送に関する事。
- 2 職員の任免、服務、表彰、分限、懲戒その他人事に関する事。
- 3 職員の給与に関する事。
- 4 職員の福利厚生及び安全衛生に関する事。
- 5 消防職員委員会に関する事。
- 6 職員の公務災害補償に関する事。
- 7 職員の研修の総括に関する事。
- 8 消防予算の調整及び執行管理に関する事。
- 9 消防に係る財産管理の総括に関する事。
- 10 消防団に関する事。
- 11 基本政策の総合企画及び調整に関する事。
- 12 条例、規則、規程その他法制に関する事。
- 13 広域消防行政に関する事。
- 14 消防行政の広報に関する事。
- 15 消防施設整備事業の計画及び実施に関する事。
- 16 水防協議会に関する事。
- 17 他の主管に属しない事。

【消防署事務分担当表】

警防課

- 1 公印の管守及び文書の收受発送に関する事。
- 2 消防署員の福利厚生及び安全衛生に関する事。
- 3 消防署員の公務災害補償に関する事。
- 4 消防署の庁舎管理に関する事。
- 5 福知山市防災センターの管理に関する事。
- 6 消防署員の教養訓練に関する事。
- 7 消防関係団体に関する事。
- 8 警防計画の策定及び対策に関する事。
- 9 消防機械器具の保守管理に関する事。
- 10 消防地理水利に関する事。
- 11 応援協定及び緊急消防援助隊の運用に関する事。
- 12 火災原因の調査に関する事。
- 13 リ災証明書の交付に関する事。
- 14 事業所の警防指導に関する事。
- 15 消防団との連絡調整に関する事。
- 16 救助業務に関する事。
- 17 救急業務に関する事。
- 18 搬送証明書の交付に関する事。
- 19 応急手当の普及及び啓発に関する事。
- 20 他の課及び室の主管に属しない事。

予防課

- 1 文書の收受発送に関する事。
- 2 火災予防対策に関する事。
- 3 防火管理者に関する事。

- 4 防火自主点検報告表示に関すること。
- 5 防火対象物の査察及び防火指導に関すること。
- 6 予防広報に関すること。
- 7 自主防火組織等の育成に関すること。
- 8 高齢者等災害弱者に対する防火指導に関すること。
- 9 消防用設備等の設置及び維持管理指導に関すること。
- 10 建築物の確認同意事務に関すること。
- 11 危険物及び指定可燃物の規制に関すること。
- 12 危険物施設の査察に関すること。
- 13 危険物施設管理者及び危険物取扱者の指導に関すること。
- 14 ガス、火薬等特殊物質の防火指導に関すること。

通信指令室

- 1 文書の収受発送に関すること。
- 2 災害通報の受付及び出動指令に関すること。
- 3 消防通信の運用に関すること。
- 4 消防隊等の出動計画に関すること。
- 5 非常召集の発令計画に関すること。
- 6 気象情報及び消防情報に関すること。
- 7 消防統計に関すること。
- 8 通信機器の保守管理に関すること。

分 署

- 1 文書の収受発送に関すること。
- 2 分署員の福利厚生及び安全衛生に関すること。
- 3 分署員の公務災害補償に関すること。
- 4 分署員の教養訓練に関すること。
- 5 庁舎管理に関すること。
- 6 消防機械器具の保守管理に関すること。
- 7 消防地理水利に関すること。
- 8 火災原因の調査に関すること。
- 9 事業所の警防指導に関すること。
- 10 警備計画に関すること。
- 11 救急業務及び救助業務に関すること。
- 12 消防団との連絡調整に関すること。
- 13 庶務に関すること。
- 14 火災予防対策に関すること。
- 15 防火対象物の査察及び防火指導に関すること。
- 16 防火管理者に関すること。
- 17 予防広報に関すること。
- 18 自主防火組織等の育成に関すること。
- 19 高齢者等災害弱者に対する防火指導に関すること。
- 20 消防用設備等の設置及び維持管理指導に関すること。
- 21 建築物の確認同意事務に関すること。
- 22 ガス、火薬等特殊物質の防火指導に関すること。

消防相互応援協定の締結状況

(平成24年4月1日)

協定名	協定市町名	協定年月日	協定事項
両 丹 都 市 消 防 相 互 応 援 協 定	舞鶴市 綾部市 宮津市 京丹後市 伊根町 与謝野町 宮津与謝消防組合	平成21年2月1日	市域間における 消防・救急業務
消 防 相 互 応 援 に 関 する 協 定	京都中部広域 消防組合	平成20年4月1日	常 備 消 防 に お け る 消 防 ・ 救 急 業 務
〃	豊岡市	平成18年1月1日	市域間における 消防・救急業務
〃	朝来市	平成18年11月22日	〃
〃	丹波市	平成19年1月1日	〃
〃	篠山市	平成11年4月26日	〃
京 都 府 広 域 消 防 相 互 応 援 協 定	京都府26市町村 ・ 4消防組合	平成19年3月12日	大 規 模 災 害 及 特 殊 災 害 等
舞 鶴 若 狭 自 動 車 道 に お け る 消 防 相 互 応 援 協 定	若狭消防組合 舞鶴市 綾部市 丹波市 篠山市 三田市 三木市 神戸市	平成21年8月1日	高 速 道 路 に お け る 火 災 ・ 救 急 及 び 救 助 業 務

警

防



消防本部・署別自動車現勢一覧

(平成24年4月1日)

所属	名 称	種 別	車名・形式	登録年月日	定員	備 考
本部	指令車	指令車	トヨタ E-GS130改	H7. 1. 23	6	
消防署	ポンプ1号車	ポンプ車	三菱 KK-FG72EC	H15. 11. 26	5	C D - I 型
	ポンプ2号車	ポンプ車	いすゞ U-NKS58GR改	H5. 11. 11	6	C D - I 型
	ポンプ5号車	ポンプ車	三菱 KC-FG538D	H8. 1. 19	6	C D - I 型
	救助工作車	救助工作車	日 野 KK-GX1JGDA改	H13. 2. 21	6	
	タンク1号車	水槽付ポンプ車	日 野 KK-FD1JEDA改	H14. 2. 20	7	水 I - A 型
	梯子車	梯子付ポンプ車	日 野 KL-PR4FPHF	H14. 12. 12	6	30m級
	救急1号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H21. 3. 10	7	高規格
	救急2号車	救急車	ニッサン E-ALWE50改	H11. 6. 25	7	高規格
	指揮隊車	指揮隊車	ニッサン LC-VPE25	H16. 3. 23	9	
	広報車	広報車	スズキ CBA-MH21S	H16. 7. 30	4	
	連絡車	連絡車	ダイハツ E-L510S	H18. 5. 23	4	
	査察車	査察車	トヨタ E-AE114G	H8. 4. 30	5	
	支援車	支援車	ニッサン T-VAJC23改	H5. 1. 25	5	
	救援車	救援車	トヨタ CBA-TRH214W	H18. 4. 14	10	
東分署	ポンプ3号車	ポンプ車	日野 BDG-XZH378M	H22. 5. 24	7	C D - I 型
	タンク2号車	水槽付ポンプ車	いすゞ U-FRR32FBV改	H4. 1. 27	7	水 II - A 型
	化学車	化学ポンプ車	ニッサン U-CM87EE改	H5. 9. 17	7	II 型
	救急3号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H23. 2. 7	7	高規格
	救急5号車	救急車	ニッサン TC-FPWGE50改	H17. 3. 25	6	高規格
	広報車	広報車	トヨタ T-YX78V改	H5. 9. 30	5	
	東資材搬送車	資材搬送車	トヨタ KF-CM85	H13. 3. 19	3	
北分署	ポンプ4号車	ポンプ車	日 野 BDG-XZU378M	H19. 1. 25	5	C D - I 型
	救急4号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H22. 4. 27	7	高規格
	救急6号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H22. 10. 6	7	高規格
	北指揮広報車	広報車	ニッサン UA-NT30	H17. 11. 18	5	

消防水利の状況

(平成24年4月1日)

	防火水槽				プール	消火栓		
	平成２３年度		40立米 以上 以 現	40立米 未 満 有		平成２３年度		現有
	新設	廃止				新設	廃止	
中 央			106	10	4	2		448
大 正	1		45	4	1		1	158
雀 部			47	5	1	2		180
庵 我			30	11	1			79
修 斉			72	20	1			292
西 中		1	41	6	1			147
下 川			34	4	1			79
上 豊			24	16	1			154
上 六			20	10	1			78
中 六			18	5	1			58
下 六	1		58	5	1			140
上 川			22	3	1			140
金 谷			19	8	1			75
三 岳			5	5	1			121
金 山			12	3	1			96
雲 原			1	0	1			69
佐 賀			7	8	2			88
長 田 野			112	20	1			105
菟 原			57	5	1			0
細 見	1		78	1	1			0
川 合			50	2	1			0
上夜久野			50	11	1			253
中夜久野			18	3				129
下夜久野			29	5	1			216
河 守			28	0	1			121
河 守 上			23	10	2			105
河 西			14	2	1			78
河 東			32	3	1			111
有 路 上			43	4	1			107
有 路 下			30	5	1			93
合 計	3	1	1,125	194	34	4	1	3,720

火災概要

			平成 2 3 年	平成 2 2 年	前 年 比 (△ 減)
火災件数 (爆発)	建 物		19 (0)	23 (0)	△ 4 (0)
	林 野		0 (0)	1 (0)	△ 1 (0)
	車 両		13 (0)	3 (0)	10 (0)
	その他		16 (0)	17 (0)	△ 1 (0)
	計		48 (0)	44 (0)	4 (0)
焼損面積	建物 (㎡)	床面積	1,032	1,301	△ 269
		表面積	7	71	△ 64
	山林原野 (a)		47	65	△ 18
焼損棟数 (棟)	全 焼		9	10	△ 1
	半 焼		3	2	1
	部分焼		5	5	0
	ぼ や		13	13	0
り災世帯 (世帯)	全 損		4	4	0
	半 損		1	2	△ 1
	小 損		14	10	4
り 災 人 員 (人)			49	45	4
死傷者 (人)	死 者		3	1	2
	傷 者		5	7	△ 2
損害見積額 (千円)	建 物		26,048	35,327	△ 9,279
	収容物		25,353	7,486	17,867
	林 野		0	0	0
	車 両		1,432	3,624	△ 2,192
	その他		3,144	3,471	△ 327
	爆 発		0	0	0
	計		55,977	49,908	6,069
火災発生間隔 (日)			7.4	8.3	△ 0.9
1 件平均損害額 (千円)			1,166	1,134	32
1 日平均損害額 (千円)			153	137	16
1 件平均建物焼損面積 (㎡)			55	60	△ 5

累年火災比較（１０年間）

		平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
火災件数（件）	建 物	25	27	31	26	25	28	33	16	23	19
	林 野	4	3	6	2	3	2	1	0	1	0
	車 両	5	4	4	6	4	9	5	9	3	13
	その他	22	13	25	19	30	12	17	12	17	16
	計	56	47	66	53	62	51	56	37	44	48
焼損面積	建物（㎡）										
	床面積	2,335	2,364	1,485	764	1,646	5,447	1,269	544	1,301	1,032
	表面積	18	15	72	70	100	102	4	149	71	7
	山林原野（a）	463	48	72	83	195	117	49	46	65	47
焼損棟数（棟）	全 焼	11	11	7	8	7	8	10	6	10	9
	半 焼	4	5	3	1	1	2	0	0	2	3
	部分焼	4	9	5	4	12	9	9	8	5	5
	ぼ や	14	10	22	19	16	15	18	6	13	13
り災世帯（世帯）	全 損	11	16	4	4	5	5	5	2	4	4
	半 損	2	0	2	2	0	3	0	0	2	1
	小 損	7	9	11	15	17	9	15	9	10	14
り災人員（人員）		52	60	45	53	55	32	56	34	45	49
死傷者（人）	死 者	6	3	2	0	3	0	2	1	1	3
	傷 者	8	6	4	14	5	6	13	2	7	5
損害見積額（千円）	建物（収容物含む）	144,783	81,584	101,300	82,952	48,903	394,085	52,364	16,093	42,813	51,401
	林 野	2,042	120	0	0	0	0	0	0	0	0
	車 両	1,143	5,355	683	701	562	2,928	12,760	1,786	3,624	1,432
	その他	885	394	574	108	45	791	4,794	0	3,471	3,144
	爆 発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	148,853	87,453	102,557	83,761	49,510	397,804	69,918	17,879	49,908	55,977

署・分署別火災発生状況

(平成23年中)

		消防署	東分署	北分署	計
火災件数 (件)	建物(爆発)	10	4	5	19
	林野(爆発)				0
	車両(爆発)	5	7	1	13
	その他(爆発)	7	7	2	16
	計	22	18	8	48
焼損面積	建物(m ²)	711	154	174	1,039
	山林原野(a)	19	28		47
焼損棟数 (棟)	全焼	3	3	3	9
	半焼	2	1		3
	部分焼	1	2	2	5
	ぼや	6	3	4	13
	計	12	9	9	30
り災世帯 (世帯)	全損	4			4
	半損			1	1
	小損	8	3	3	14
	計	12	3	4	19
り災人員(人)		30	7	12	49
死者(人)		3			3
傷者(人)		4	1		5
損害見積額 (千円)	建物	14,775	3,936	7,337	26,048
	収容物	24,634	408	311	25,353
	林野				0
	車両	454	938	40	1,432
	その他	1,136	2,008		3,144
	爆発				0
	計	40,999	7,290	7,688	55,977

地区別火災発生状況 1

(平成23年中)

	火災件数 (件)					焼損面積			焼損棟数 (棟)				
	建物	林野	車両	その他	計	建物 (㎡)		山林 原野 (a)	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計
						床面積	表面積						
中 央	4		2		6	177				1	1	2	4
大 正	2			3	5	172		4	1	1			2
雀 部			2	1	3			20					0
庵 我	1		1		2		1					1	1
修 斉	3		2	2	7	361		4	2			3	5
西 中	2			3	5	30	5	3		1	2		3
下 川	1			1	2							1	1
上 豊				1	1			1					0
上 六				1	1			5					0
中 六					0								0
下 六	1		2	2	5	20			2				2
上 川	1			1	2	172			3		2		5
金 谷					0								0
三 岳					0								0
金 山					0								0
雲 原					0								0
佐 賀				1	1			10					0
菟 原			1		1								0
細 見	1		1		2	99			1			3	4
川 合			1		1								0
上夜久野					0								0
中夜久野					0								0
下夜久野	3		1		4	1	1					3	3
河 守					0								0
河 守 上					0								0
河 西					0								0
河 東					0								0
有路上					0								0
有路下					0								0
計	19	0	13	16	48	1,032	7	47	9	3	5	13	30

地区別火災発生状況 2

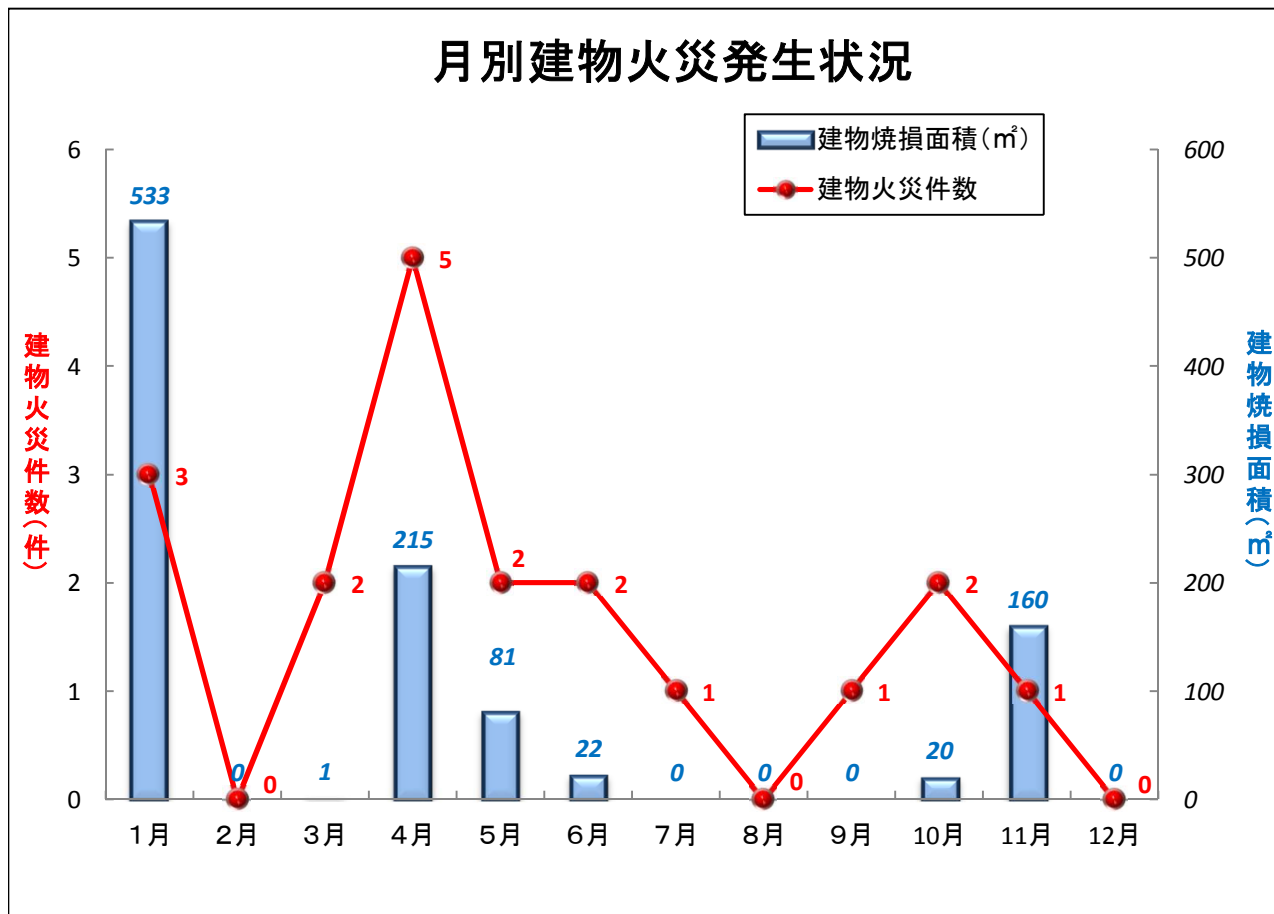
(平成23年中)

	り災世帯（世帯）				り災人員（人）	死傷者（人）		損害見積額（千円）					
	全損	半損	小損	計		死者	傷者	建物	収容物	林野	車両	その他	計
中 央	3		4	7	10	1	1	5,211	147		10		5,368
大 正				0				2,045	24,218		253	126	26,642
雀 部				0							92		92
庵 我			1	1	4	1	1	26			120		146
修 斉	1		3	4	16	1	2	7,493	269		71	996	8,829
西 中			1	1	3			1,494	170				1,664
下 川				0									0
上 豊				0								14	14
上 六				0									0
中 六				0									0
下 六				0			1				57		57
上 川		1		1	2			6,820	233		40		7,093
金 谷				0									0
三 岳				0									0
金 山				0									0
雲 原				0									0
佐 賀				0									0
菟 原				0							366		366
細 見			2	2	4			2,442	238		23	2,008	4,711
川 合				0							400		400
上夜久野				0									0
中夜久野				0									0
下夜久野			3	3	10			517	78				595
河 守				0									0
河守上				0									0
河 西				0									0
河 東				0									0
有路上				0									0
有路下				0									0
計	4	1	14	19	49	3	5	26,048	25,353	0	1,432	3,144	55,977

月別火災発生状況 1

(平成23年中)

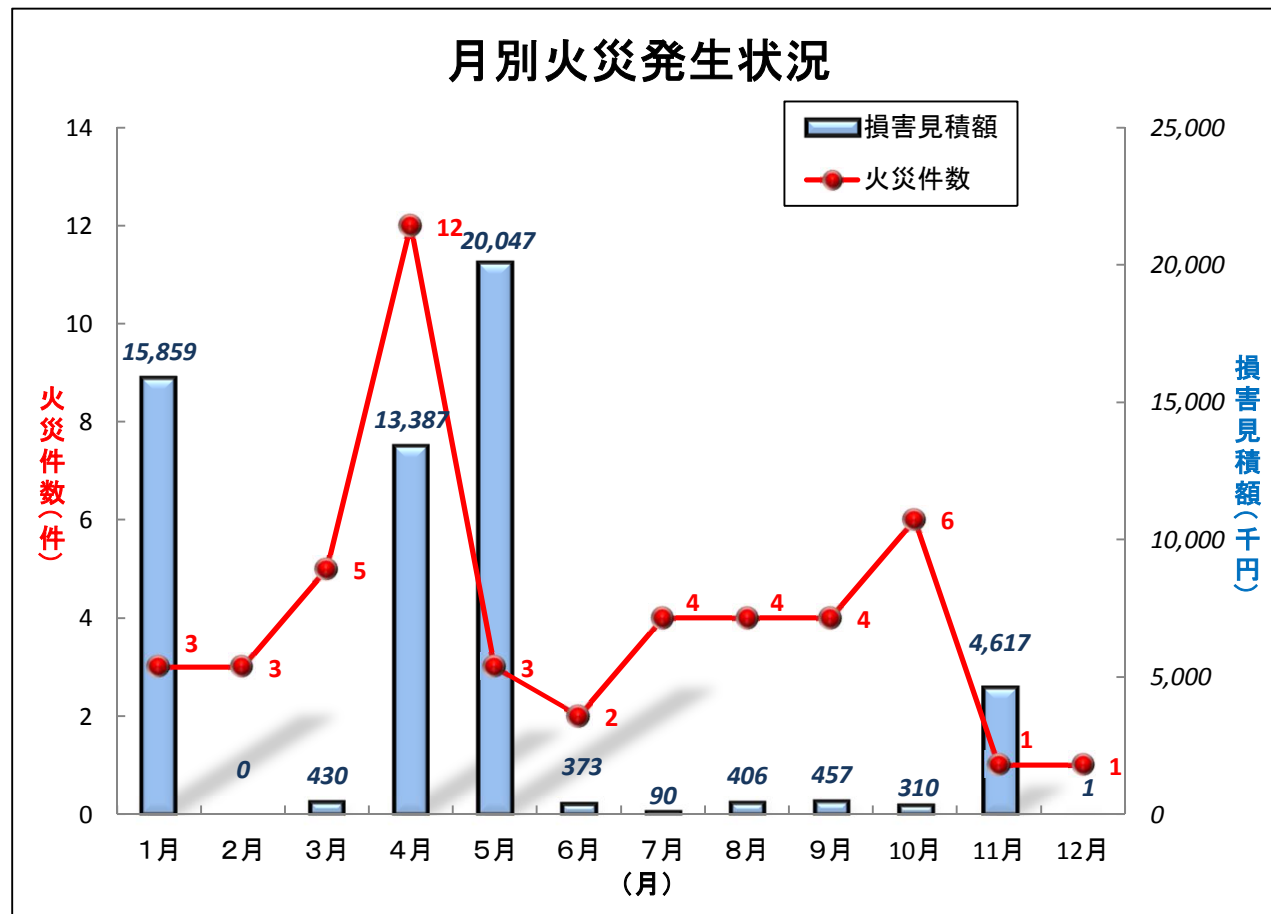
	火災発生件数 (件)					焼損面積			焼損棟数 (棟)				
	建物	林野	車両	その他	計	建物 (㎡)		山林原野 (a)	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計
						床面積	表面積						
1月	3				3	533			5		2	2	9
2月				3	3			15					0
3月	2			3	5	1		20				2	2
4月	5		3	4	12	215	6	5	2		2	5	9
5月	2			1	3	81				1	1		2
6月	2				2	22				1		1	2
7月	1		1	2	4			3				1	1
8月			2	2	4			4					0
9月	1		3		4							1	1
10月	2		4		6	20	1		2			1	3
11月	1				1	160				1			1
12月				1	1								0
計	19	0	13	16	48	1,032	7	47	9	3	5	13	30



月別火災発生状況 2

(平成23年中)

	り災世帯 (世帯)				り災人員 (人)	死傷者 (人)		損害見積額 (千円)					
	全損	半損	小損	計		死者	傷者	建物	収容物	林野	車両	その他	計
1月	1	1	2	4	12	1	2	14,321	502		40	996	15,859
2月				0									0
3月			2	2	4			430					430
4月			5	5	12		1	5,000	5,926		314	2,147	13,387
5月			2	2	4		1	1,497	18,550				20,047
6月			1	1	6			217	156				373
7月				0							90		90
8月				0							406		406
9月			1	1	1		1		5		452		457
10月			1	1	7	1		107	73		130		310
11月	3			3	3	1		4,476	141				4,617
12月				0								1	1
計	4	1	14	19	49	3	5	26,048	25,353	0	1,432	3,144	55,977

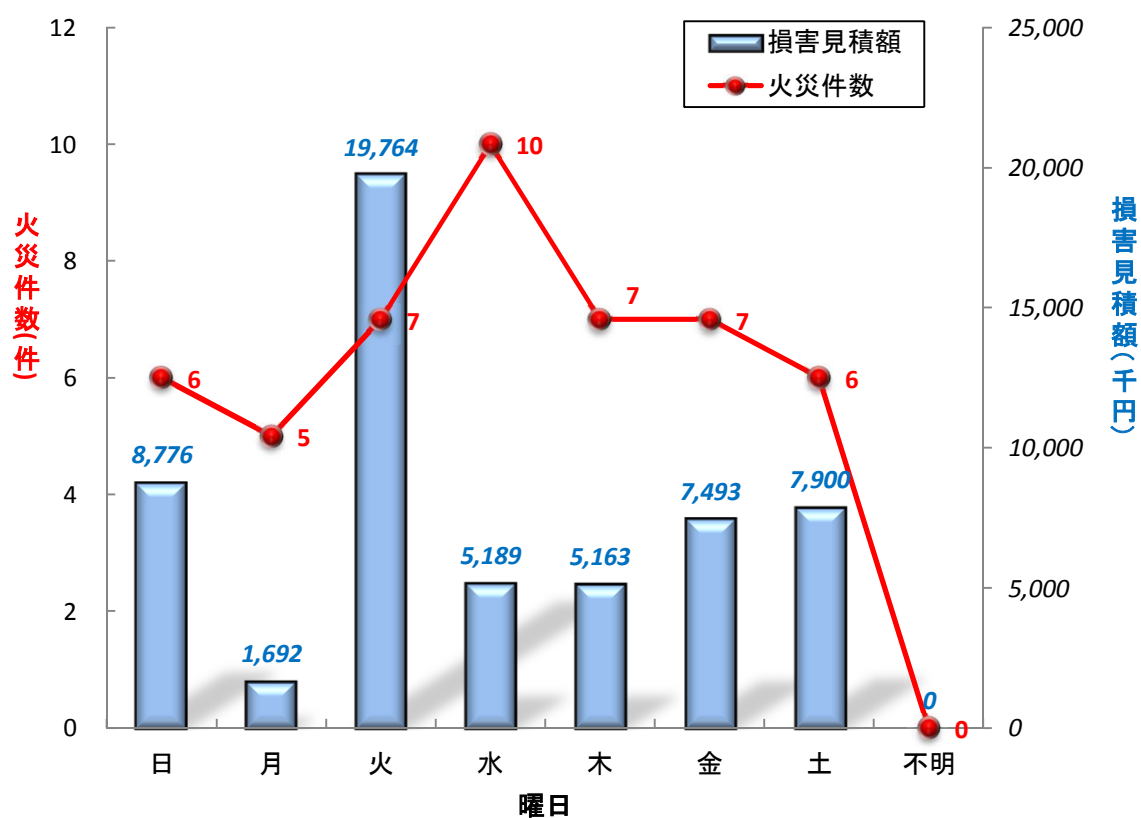


曜日・時間別火災発生状況

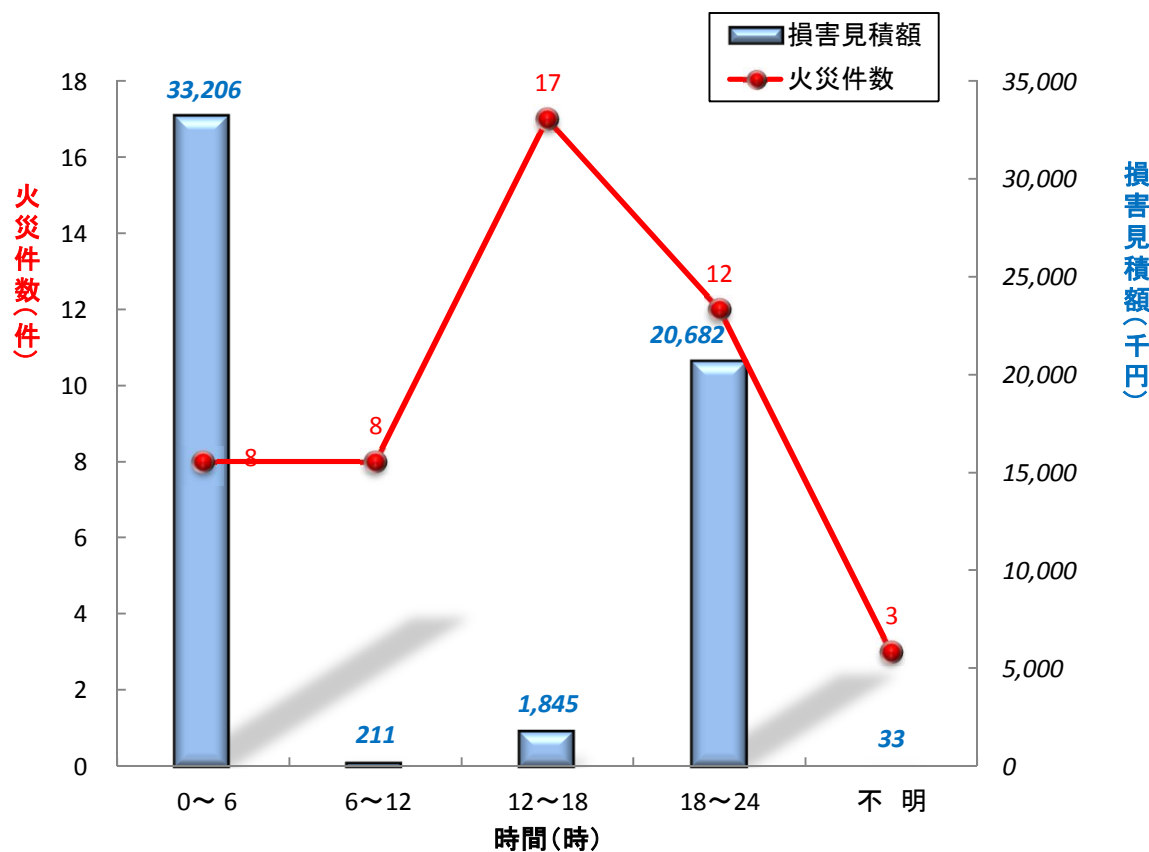
(平成22年中)

		件数	火 災 種 別				焼 損 面 積			損害見積額 (千円)
			建物	林野	車両	その他	建 物		山林 原野 (a)	
							床面積 (㎡)	表面積 (㎡)		
日	0～ 6	1	1				361			8,757
	6～12	2			1	1			10	2
	12～18	3			1	2			1	17
	18～24	0								
	不 明	0								
	計	6	1	0	2	3	361	0	11	8,776
月	0～ 6	1				1				1
	6～12	0								
	12～18	2	1			1	8	5		1,291
	18～24	1			1					400
	不 明	1	1							
	計	5	2	0	1	2	8	5	0	1,692
火	0～ 6	0								
	6～12	0								
	12～18	4	2		1	1	22		5	393
	18～24	3	2		1		64			19,371
	不 明	0								
	計	7	4	0	2	1	86	0	5	19,764
水	0～ 6	1	1				160			4,617
	6～12	3			2	1			4	36
	12～18	3			1	2			23	40
	18～24	3			3					496
	不 明	0								
	計	10	1	0	6	3	160	0	27	5,189
木	0～ 6	2	2				99			4,720
	6～12	1	1							
	12～18	1				1			3	
	18～24	2	1			1	1			410
	不 明	1			1					33
	計	7	4	0	1	2	100	0	3	5,163
金	0～ 6	1	1				108			7,306
	6～12	2	2					2		173
	12～18	3				3			1	14
	18～24	0								
	不 明	1				1				
	計	7	3	0	0	4	108	2	1	7,493
土	0～ 6	2	2				189			7,805
	6～12	0								
	12～18	1			1					90
	18～24	3	2			1	20			5
	不 明	0								
	計	6	4	0	1	1	209	0	0	7,900
曜 日 不 明		0								

曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況



気象別火災発生状況

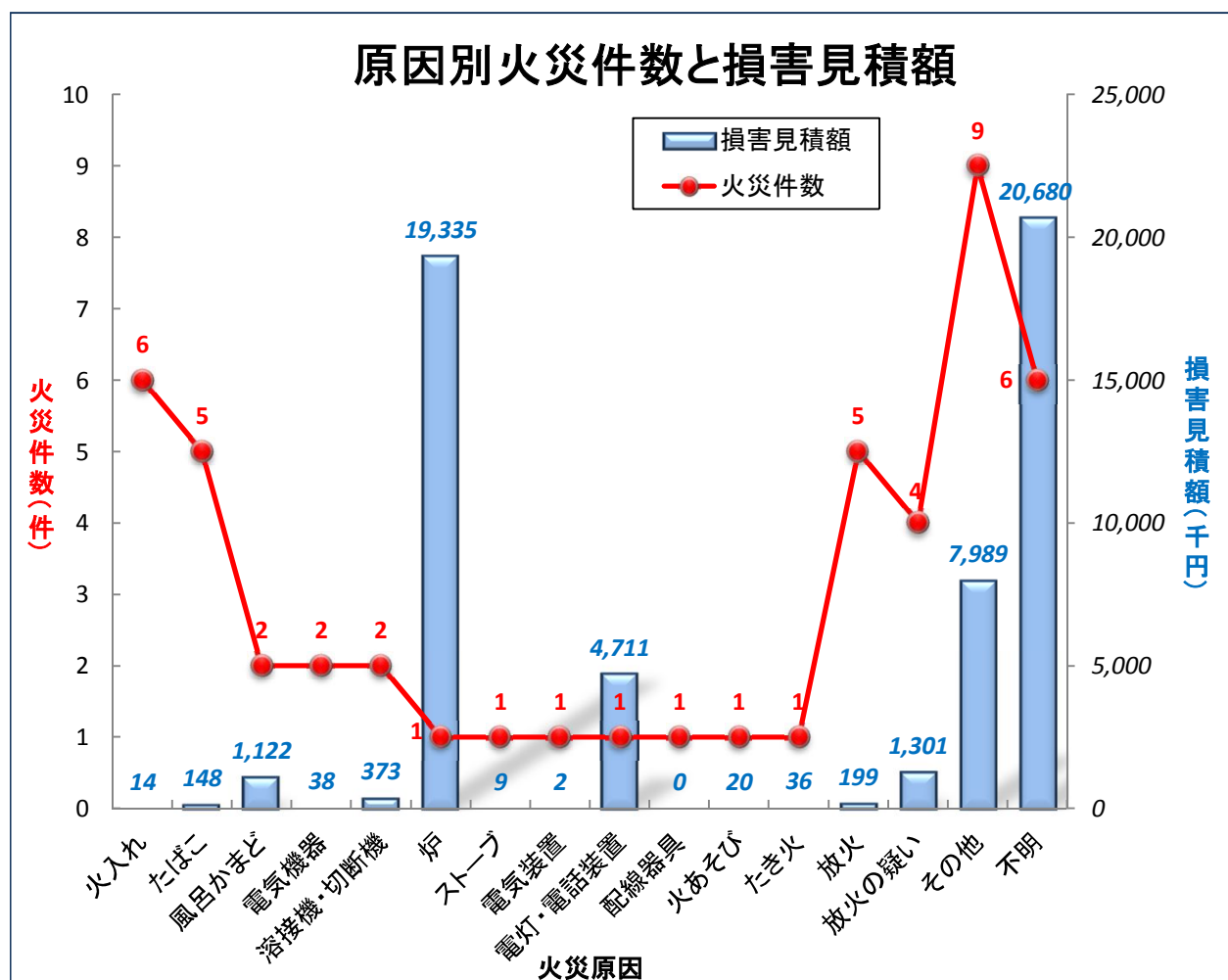
(平成23年中)

		火災件数（件）					損 害 見 積 額 （ 千 円 ）					
		合計	建物	林野	車両	その他	合計	建物	収容物	林野	車両	その他
風速	2m未満	46	18		13	15	55,977	26,048	25,353		1,432	3,144
	2m～3m	2	1			1	0					
	3m～5m	0					0					
	5m～7m	0					0					
	7m～10m	0					0					
	10m以上	0					0					
	計	48	19	0	13	16	55,977	26,048	25,353	0	1,432	3,144
湿度	40%未満	6			1	5	14					14
	40%～50%	7	2		3	2	1,790	1,494	170		126	
	50%～60%	9	3		2	4	62	20			42	
	60%～70%	5	3		1	1	8,035	1,962	5,678		270	125
	70%～80%	9	5		2	2	24,511	3,258	18,822		423	2,008
	80%～90%	5	2		3		312	107	40		165	
	90%以上	7	4		1	2	21,253	19,207	643		406	997
	計	48	19	0	13	16	55,977	26,048	25,353	0	1,432	3,144
天候	晴	27	7		9	11	7,455	4,346	446		641	2,022
	曇	19	11		3	5	48,009	21,595	24,867		425	1,122
	雨	1	1				147	107	40			
	雪	1			1		366				366	
	計	48	19	0	13	16	55,977	26,048	25,353	0	1,432	3,144
警報・注意報等	火災警報	0					0					
	乾燥・強風 注意報	15	4		6	5	13,731	4,814	5,916		854	2,147
	なし	33	15		7	11	42,246	21,234	19,437		578	997
	その他	0					0					
	計	48	19	0	13	16	55,977	26,048	25,353	0	1,432	3,144

火災原因別調べ

(平成23年中)

	件数 (件)	内 記												損 害 見 積 額 (千円)
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火入れ	6		2		2				2					14
たばこ	5			1	3						1			148
風呂かまど	2		1			1								1,122
電気機器	2									1	1			38
溶接機・切断機	2					1	1							373
炉	1					1								19,335
ストーブ	1	1												9
電気装置	1				1									2
電灯・電話装置	1				1									4,711
配線器具	1						1							0
火あそび	1			1										20
たき火	1				1									36
放火	5				1					2	1		1	199
放火の疑い	4		1		2						1			1,301
その他	9	1	2					1	2	1	2			7,989
不明	6	1			1			3				1		20,680
合 計	48	3	6	2	12	3	2	4	4	4	6	1	1	55,977



救急概要

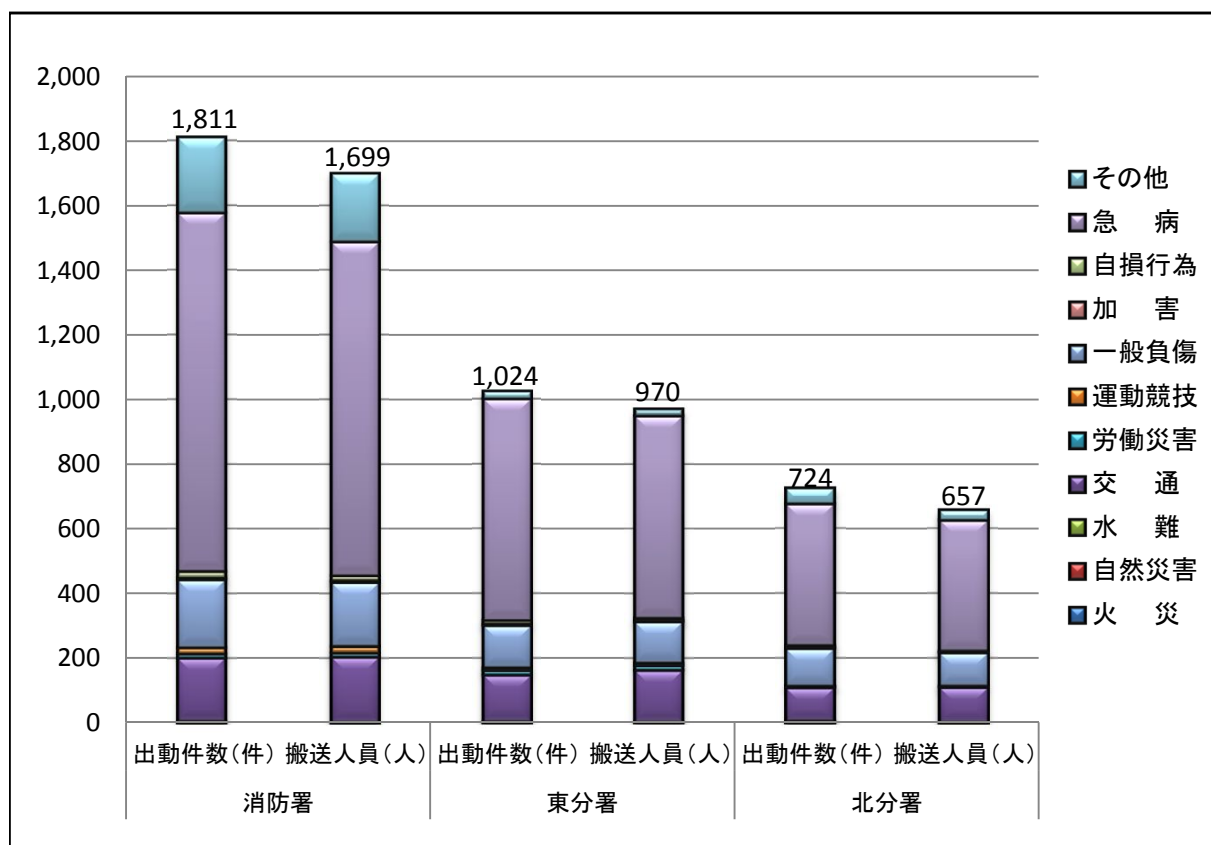
(平成23年中)

			平成 2 3 年	平成 2 2 年	前 年 比 （ △ 減 ）
出 動 件 数 （ 件 ）			3,559	3,278	281
事 故 種 別	火 災		7	10	△ 3
	自 然 災 害		1	0	1
	水 難		7	0	7
	交 通		443	443	0
	労 働 災 害		31	32	△ 1
	運 動 競 技		28	15	13
	一 般 負 傷		457	424	33
	加 害		13	15	△ 2
	自 損 行 為		38	36	2
	急 病		2,230	2,087	143
	そ の 他	転 院 搬 送	261	181	80
		医 師 搬 送	9	3	6
		資 材 搬 送	0	0	0
		そ の 他	34	32	2
搬 送 人 員			3,326	3,158	168
不 搬 送			319	199	120
1 ヲ月平均出動件数（件）			297	273	24
1 日 平 均 出 動 件 数 （ 件 ）			9.75	8.98	0.77
平 均 現 着 所 要 時 間 （ 分 ）			8.88	8.58	0.3

署・分署別救急活動状況

(平成23年中)

		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
消 防 署	出動件数(件)	2		3	196	13	19	210	6	20	1,109	233	1,811
	搬送人員(人)			1	203	13	20	198	5	16	1,032	211	1,699
東 分 署	出動件数(件)	3		1	144	14	8	131	5	11	684	23	1,024
	搬送人員(人)	3			160	14	8	128	3	8	626	20	970
北 分 署	出動件数(件)	2	1	3	103	4	1	116	2	7	437	48	724
	搬送人員(人)	1			109	4		103	1	4	404	31	657
合 計	出動件数(件)	7	1	7	443	31	28	457	13	38	2,230	304	3,559
	搬送人員(人)	4		1	472	31	28	429	9	28	2,062	262	3,326



月別救急活動状況

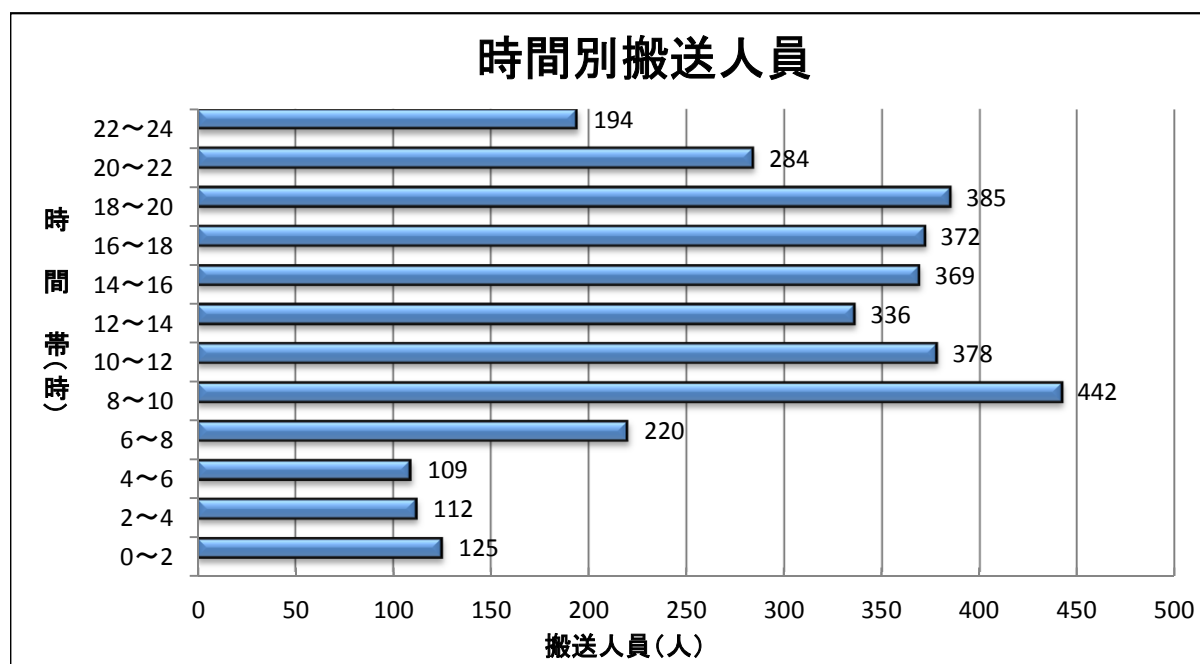
(平成23年中)

		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
1月	出動件数(件)	1			29		1	52	1	3	219	35	341
	搬送人員(人)	2			31		1	51	1	2	207	30	325
2月	出動件数(件)			2	24	3		32		3	167	26	257
	搬送人員(人)				26	3		31		3	156	18	237
3月	出動件数(件)	1		2	41	2	3	26	3	3	178	26	285
	搬送人員(人)			1	44	2	3	24	1	3	172	20	270
4月	出動件数(件)	3			35	2	1	36	1	4	161	25	268
	搬送人員(人)	1			36	2	1	34	1	3	151	20	249
5月	出動件数(件)	1			36	1	3	46		4	188	26	305
	搬送人員(人)	1			45	1	3	44		3	175	21	293
6月	出動件数(件)				44	4	3	36		4	182	21	294
	搬送人員(人)				40	4	3	34		3	172	20	276
7月	出動件数(件)			3	45	1	5	41		2	194	19	310
	搬送人員(人)				48	1	6	40			179	19	293
8月	出動件数(件)				39	4	2	38	1	4	214	27	329
	搬送人員(人)				45	4	2	35	1	3	196	24	310
9月	出動件数(件)		1		27	2	3	31	1	5	177	19	266
	搬送人員(人)				26	2	3	30	1	4	163	17	246
10月	出動件数(件)				39	6	2	42	4	4	195	25	317
	搬送人員(人)				45	6	2	39	2	2	167	20	283
11月	出動件数(件)	1			40	3	5	38	2		156	25	270
	搬送人員(人)				41	3	4	36	2		144	24	254
12月	出動件数(件)				44	3		39		2	199	30	317
	搬送人員(人)				45	3		31		2	180	29	290
合計	出動件数(件)	7	1	7	443	31	28	457	13	38	2,230	304	3,559
	搬送人員(人)	4	0	1	472	31	28	429	9	28	2,062	262	3,326

時間別事故種別搬送人員

(平成23年中)

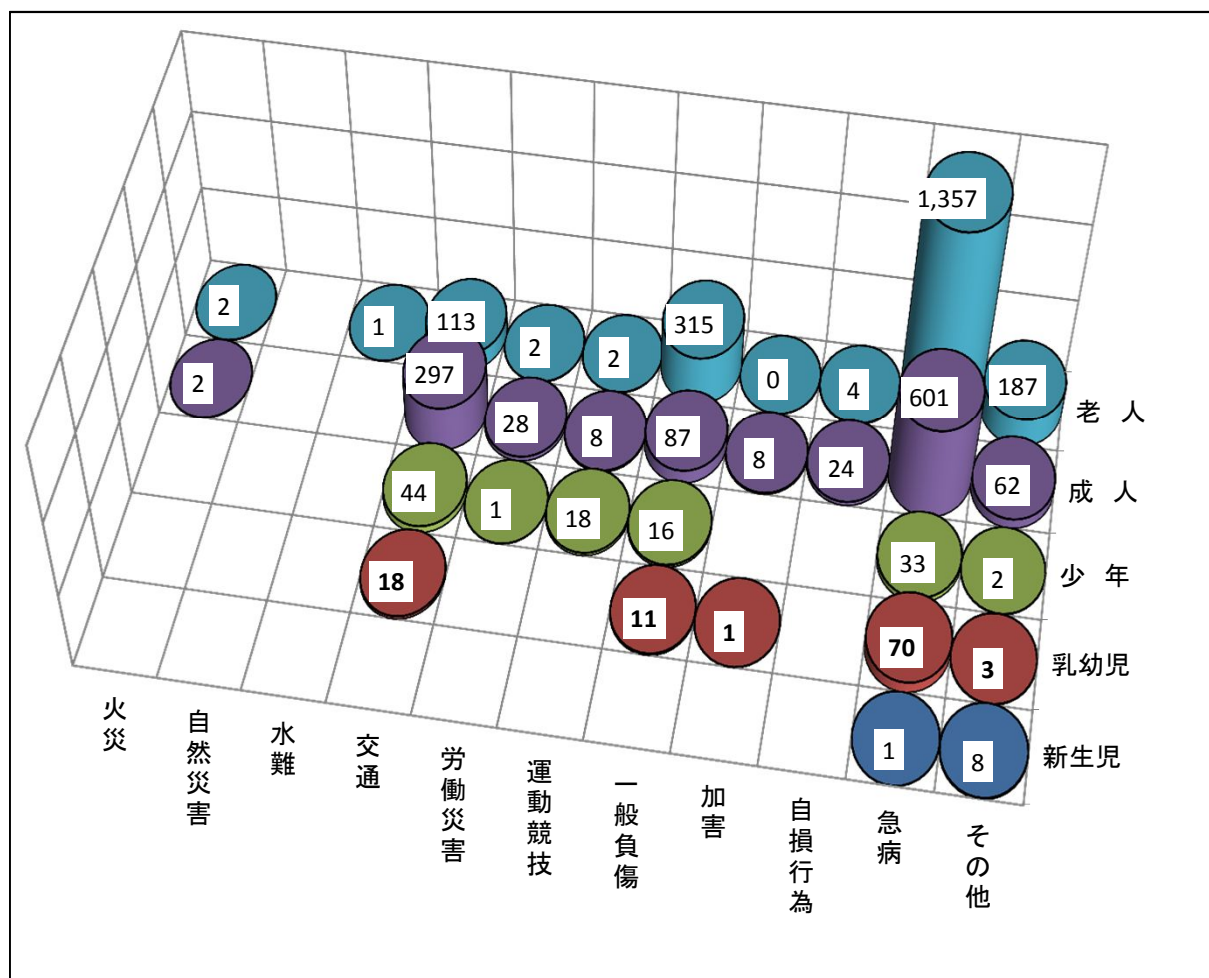
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
0～2	1			10			11	3		90	10	125
2～4	2			5	1		7	1	1	88	7	112
4～6				12			14		1	75	7	109
6～8				32	2		47	1	2	128	8	220
8～10			1	63	5		71	1	3	275	23	442
10～12				55	8	8	48	1	1	222	35	378
12～14				44	3	4	44		5	202	34	336
14～16				44	6	6	50	1	4	226	32	369
16～18	1			76	2	4	55		5	190	39	372
18～20				85	2	3	39		1	228	27	385
20～22				33	1	3	25	1	4	196	21	284
22～24				13	1		18		1	142	19	194
合 計	4	0	1	472	31	28	429	9	28	2,062	262	3,326



年齢区分別事故種別搬送人員

(平成23年中)

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児										1	8	9
乳幼児				18			11	1		70	3	103
少年				44	1	18	16			33	2	114
成人	2			297	28	8	87	8	24	601	62	1,117
老人	2		1	113	2	2	315	0	4	1,357	187	1,983
合計	4	0	1	472	31	28	429	9	28	2,062	262	3,326



傷病程度別性別事故種別搬送人員

(平成23年中)

傷病程度		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死 亡	男性				6			5		4	28		43
	女性			1				3		1	23		28
	計	0	0	1	6	0	0	8	0	5	51	0	71
重 症	男性				10	1		8		1	62	31	113
	女性				8	2		18	1		35	26	90
	計	0	0	0	18	3	0	26	1	1	97	57	203
中等症	男性				36	14	4	50	1	6	417	99	627
	女性	1			20			86		6	314	75	502
	計	1	0	0	56	14	4	136	1	12	731	174	1,129
軽 症	男性	3			203	13	17	134	3	2	639	15	1,029
	女性				189	1	7	125	4	8	544	16	894
	計	3	0	0	392	14	24	259	7	10	1,183	31	1,923
その他	男性												0
	女性												0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	男性	3	0	0	255	28	21	197	4	13	1,146	145	1,812
	女性	1	0	1	217	3	7	232	5	15	916	117	1,514
	合計	4	0	1	472	31	28	429	9	28	2,062	262	3,326

傷病程度別年齢区分搬送人員

(平成23年中)

	新生児	乳幼児	少 年	成 人	老 人	合計
死 亡		1	1	15	54	71
重 症	3	1	5	57	137	203
中等症	4	2	15	249	859	1,129
軽 症	2	99	93	796	933	1,923
その他						0
合 計	9	103	114	1,117	1,983	3,326

救急講習実施状況

(平成24年3月31日現在)

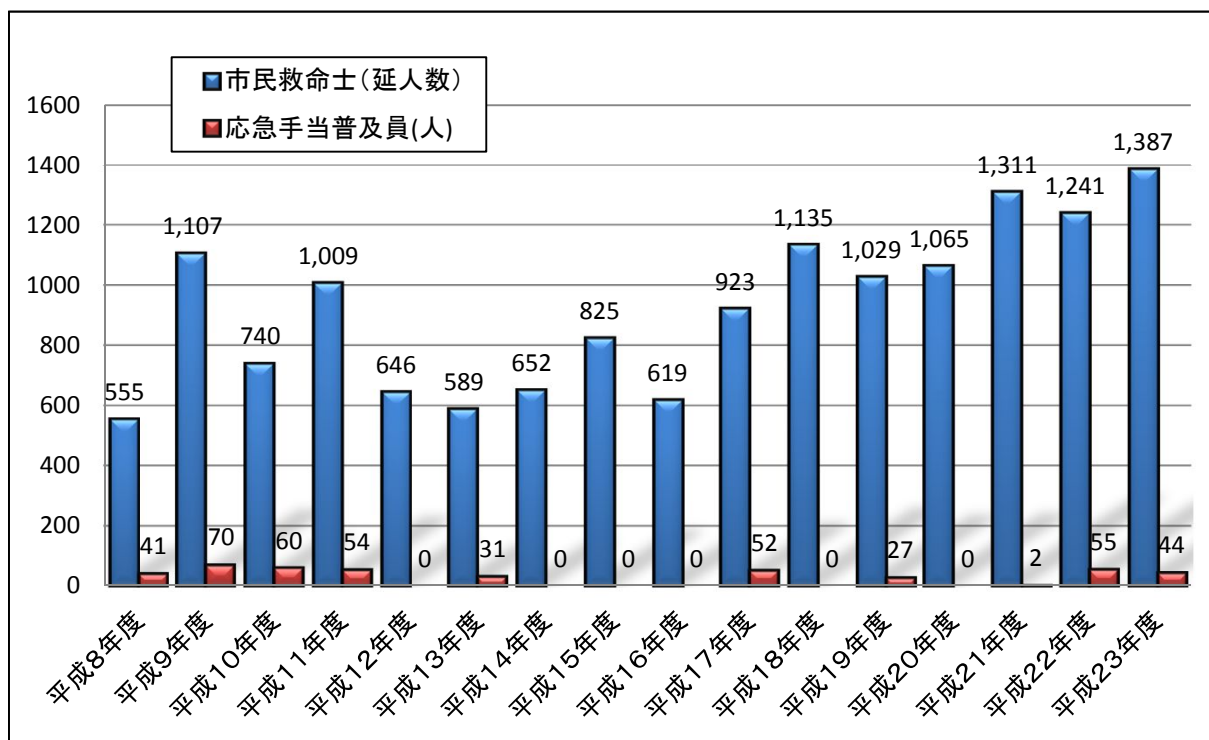
	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
市民救命士(延人数)	555	1,107	740	1,009	646	589	652
(開催回数)	22	54	32	44	37	32	45
応急手当普及員(人)	41	70	60	54	0	31	0

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
市民救命士(延人数)	825	619	923	1,135	1,029	1,065	1,311
(開催回数)	46	51	62	81	78	69	73
応急手当普及員(人)	0	0	52	0	27	0	2

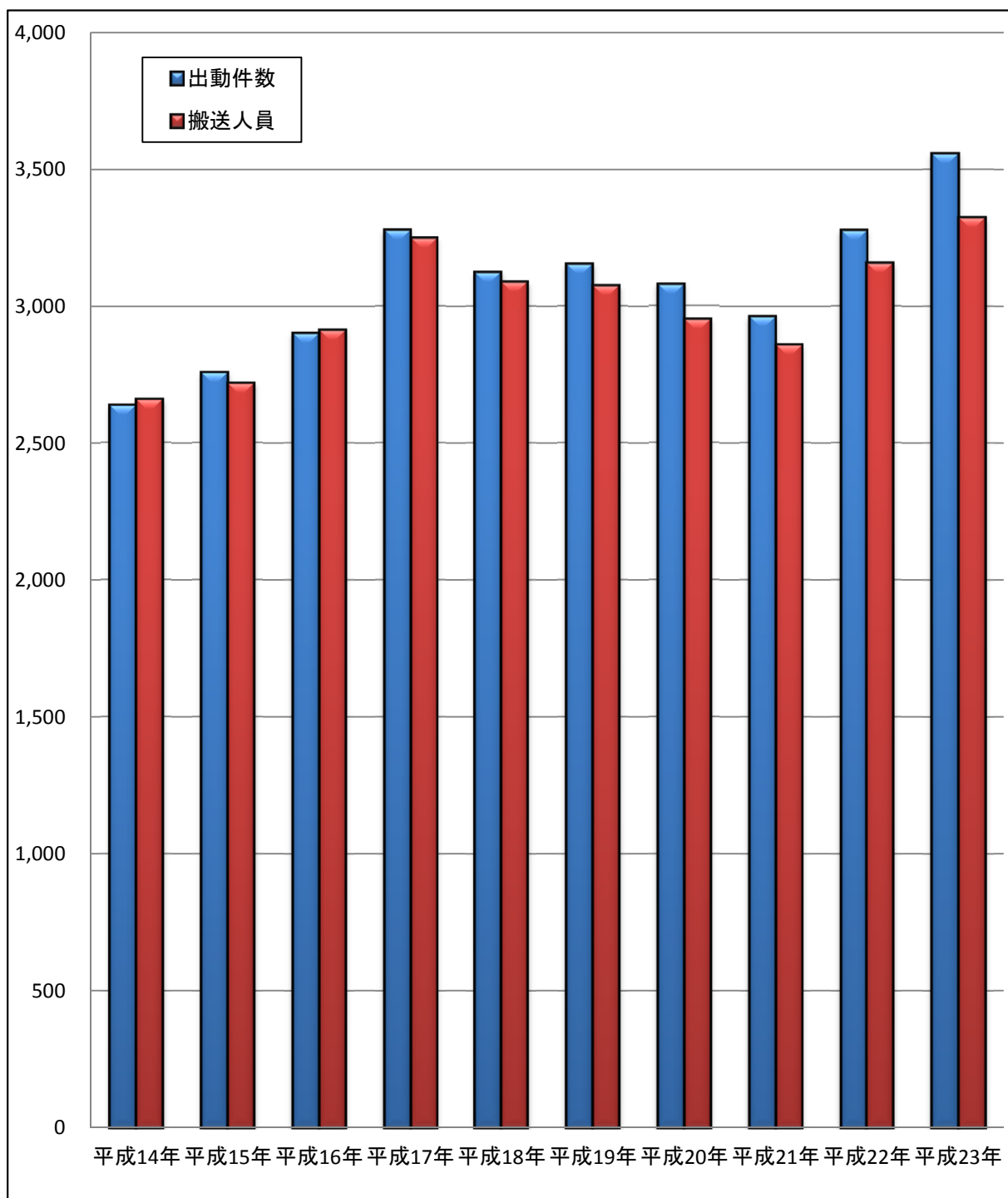
	平成22年度	平成23年度	合計
市民救命士(延人数)	1,241	1,387	14,833
(開催回数)	84	82	892
応急手当普及員(人)	55	44	436



エーイーレディー



過去10年における救急出動の推移



	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
出動件数	2, 638	2, 758	2, 903	3, 279	3, 125	3, 155	3, 080	2, 963	3, 278	3, 559
搬送人員	2, 659	2, 719	2, 914	3, 250	3, 090	3, 076	2, 952	2, 860	3, 158	3, 326

救助概要

1 出動状況及び活動状況

(平成23年中)

	出 動 状 況										活 動 状 況	
	火 災	交 通 事 故	水 難	風自 水自然 害災害 等害	機よ 械る 事に 故	建よ 物る 事に 故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂 事 故	その の事 他故	合 計	活 動 件 数	救 助 人 員
1 月	3	8								11	7	4
2 月		3	3		1					7	2	2
3 月	1	3	2						1	7	3	2
4 月	5	4							1	10	7	5
5 月	2	5			1					8	4	3
6 月	1	4								5	2	1
7 月	1	4	2		1					8	3	2
8 月		5							2	7	3	3
9 月	1	1		1					1	4	3	3
10 月	2	3							1	6	3	2
11 月	1	4			1					6	4	4
12 月		5							2	7	2	2
合 計	17	49	7	1	4	0	0	0	8	86	43	33

2 救助活動状況（前年との比較）

(平成23年中)

年別 及び 比較	出動件数 及び 救助人員	事 故 種 別									合 計
		火 災	交 通 事 故	水 難	風自 水自然 害災害 等害	機よ 械る 事に 故	建よ 物る 事に 故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂 事 故	その の事 他故	
平成23年	出動件数（件）	17	49	7	1	4				8	86
	救助人員（人）	4	20	1	1	2				5	33
平成22年	出動件数（件）	17	52		1	5	3	1		6	85
	救助人員（人）		27			4	2			4	37
前年比	出動件数（件）	0	△ 3	7	0	△ 1	△ 3	△ 1	0	2	1
	救助人員（人）	4	△ 7	1	1	△ 2	△ 2	0	0	1	△ 4

(△印は前年より減少)

救助活動のための機械器具等の保有状況 1

(平成24年4月)

	品 名	消防署	東分署	北分署	合 計
一般救助用	かぎ付きはしご	5	3	1	9
	三連はしご	3	2		5
	ワイヤーはしご	1			1
	空気式救助マット	1			1
	救命索発射銃	1			1
	救助縛帯	6	3	1	10
	平坦架	1			1
重量物排除用	油圧ジャッキ	2	2		4
	可搬ウインチ	2	1	1	4
	マンホール救助器具	1			1
	マット型空気ジャッキ	1			1
	大型油圧スプレッダー	1			1
切断用	大型油圧切断機	1			1
	エンジンカッター	4	2	2	8
	チェーンソー	2	3	1	6
	ガス溶断機	1			1
	空気鋸	1			1
	空気切断機	1			1
	鉄線カッター	1			1
破壊器具	万能斧	8	4	1	13
	ハンマー	1			1
	携帯用コンクリート破壊器具	1			1
	削岩機	2			2
測定用器具	可燃性ガス測定器	1	1		2
	有毒ガス測定器	1			1
	放射線測定器	2			2

救助活動のための機械器具等の保有状況 2

(平成24年4月)

	品 名	消防署	東分署	北分署	合 計
呼吸保護用	空気呼吸器	22	6	6	34
	防塵マスク	44	20	16	80
	送排風機	1			1
隊員保護用	耐電手袋	15	6	5	26
	耐電衣	4			4
	耐電ズボン	4			4
	耐電長靴	8	6	5	19
	防塵メガネ	44	20	16	80
	携帯警報器	6	7	3	16
	陽圧式化学防護服	8			8
水難救助用	潜水器具		4		4
	救命胴衣	49	12	11	72
	救命ボート	1	1	1	3
	船外機	1	1	1	3
	救命浮環	2	4	2	8
	流水救助器具	4	2	2	8



レスキュージョー

防 予



防火対象物の状況

(平成23年度)

項別防火対象物			防火管理者選任義務対象物(法第8条)				消防用設備等設置対象物(法第17条)			
			消防署	東分署	北分署	計	消防署	東分署	北分署	計
1	イ	劇場・映画館	1	1		2	1	1		2
	ロ	公会堂・集会場	13	6	2	21	13	6	2	21
2	イ	キャバレー・カフェー	2			2	3			3
	ロ	遊技場・ダンスホール	3	3	2	8	3	3	2	8
	ハ	性風俗店舗								
	ニ	カラオケボックス等	2	1		3	2	1		3
3	イ	待合・料理店	5			5	5			5
	ロ	飲食店	65	15	9	89	84	19	17	120
4		百貨店・マーケット	94	23	16	133	120	32	28	180
5	イ	旅館・ホテル	18	6	12	36	24	7	13	44
	ロ	寄宿舎・共同住宅	37	26		63	536	295	15	846
6	イ	病院・診療所	6	1	3	10	30	11	11	52
	ロ	養護老人ホーム・特別養護老人ホーム	9	12	5	26	9	13	5	27
	ハ	軽費老人ホーム・老人福祉センター	19	12	9	40	33	23	13	69
	ニ	幼稚園・特別支援学校	8	3		11	8	3		11
7		各種学校	15	16	13	44	16	16	13	45
8		図書館・博物館	3	1	2	6	4	1	2	7
9	イ	熱気蒸気等の公衆浴場								
	ロ	イ以外の公衆浴場		1	1	2	2	1	1	4
10		停車場								
11		神社・寺院	24	9	13	46	31	12	33	76
12	イ	工場・作業場	7	33	3	43	125	150	97	372
	ロ	映画スタジオ						1		1
13	イ	自動車車庫					27	5	4	36
	ロ	飛行機格納庫								
14		倉庫		3	1	4	129	63	30	222
15		事業所	70	30	25	125	203	93	99	395
16	イ	複合対象物	122	27	17	166	238	54	29	321
	ロ	イ以外の複合対象物	15	5	3	23	112	30	16	158
16の2		地下街								
16の3		準地下街								
17		重要文化財		1	2	3	5	1	3	9
18		延長50 ^{メートル} 以上のアーケード								
合 計			538	235	138	911	1,763	841	433	3,037

建築同意事務 署・分署別件数

(平成23年度)

		新 築	増 築	改 築	そ の 他	計画変更	許可申請	合 計
消 防 署	指 導 あ り	26	9	1		5		41
	指 導 な し	26	6	1		1	2	36
	小 計	52	15	2		6	2	77
東 分 署	指 導 あ り	16	12			4	1	33
	指 導 な し	16	10			1		27
	小 計	32	22			5	1	60
北 分 署	指 導 あ り	2	3			1		6
	指 導 な し	4	4	1		2	1	12
	小 計	6	7	1		3	1	18
合 計	指 導 あ り	44	24	1		10	1	80
	指 導 な し	46	20	2		4	3	75
	小 計	90	44	3		14	4	155

建築同意事務業態別棟別件数

(平成23年度)

項	防 火 対 象 物	新 築	増 築	改 築	そ の 他	計画変更	許可申請	合 計
1	イ 劇 場 等							
	ロ 集 会 所 等	1				1		2
2	イ キャバレー等							
	ロ 遊 技 場 等							
	ハ 性 風 俗 店 舗 等							
	ニ カラオケボックス等							
3	イ 料 理 店 等							
	ロ 飲 食 店	6						6
4	百 貨 店 等	5	1					6
5	イ 旅 館 等					1		1
	ロ 共 同 住 宅 等	11	1			2		14
6	イ 病 院 等							
	ロ 養護老人ホーム等	2	3			1	1	7
	ハ 軽費老人ホーム等	3	1			1		5
	ニ 幼 稚 園 等							
7	学 校 等		3	1				4
8	図 書 館 等							
9	イ 蒸 気 浴 場 等							
	ロ 一 般 浴 場							
10	車 両 停 車 場							
11	神 社 等							
12	イ エ ン ー ジ ン 車 等	3	9					12
	ロ ス タ ジ オ 等							
13	イ 車 庫 等	3	1					4
	ロ 特 殊 格 納 庫							
14	倉 庫	5	3			1		9
15	前 各 項 以 外	15	7			5	2	29
16	イ 特 定 複 合	1						1
	ロ イ 以 外	1						1
17	文 化 財							
18	ア ー ケード							
専 用 住 宅 等		34	15	2		2	1	54
合 計		90	44	3		14	4	155

消防用設備等検査状況

(平成23年度)

	消 防 用 設 備 等	着工届出書 (累 計)	設置届出書 (累 計)	完成検査 (累 計)
消 火 設 備	消 火 器		71	77
	屋 内 消 火 栓 設 備	6	6	4
	パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備	2	1	0
	屋 外 消 火 栓 設 備	6	5	2
	水 噴 霧 消 火 設 備			
	泡 消 火 設 備	3	1	3
	ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備			
	粉 末 消 火 設 備			
	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備			
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	9	11	11
	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備			
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	62	84	73
	漏 電 火 災 警 報 器	4	4	3
	非 常 警 報 設 備 ・ 非 常 ベ ル	16	18	15
	非 常 警 報 設 備 ・ 非 常 放 送	9	12	10
	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備			
	消 防 機 関 に 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	7	9	8
避 難 設 備	避 難 器 具	5	5	5
	誘 導 灯	59	70	56
	誘 導 標 識		15	34
消 防 用 水			1	1
消 必 火 要 活 な 動 設 上 備	連 結 送 水 管	2	3	3
	連 結 散 水 設 備			
	排 煙 設 備			
	非 常 コ ン セ ン ト 設 備			
	無 線 通 信 補 助 施 設			
フ ー ド 等 用 簡 易 自 動 消 火 装 置				
開 放 装 置 ・ シ ャ ッ タ ー				2
合 計		190	316	307

危険物施設の状況

(平成23年度)

		製造所	貯蔵所							取扱所			合 計	
			屋内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋外	給油	販売	一般		
許 可 施 設 数		14	75	96	5	75		31	4	66	2	49	417	
数 量 別 数	5倍以下			33	10	3	34		31	1	3		20	135
	5 倍 を 越 え 10 倍 以 下		1	23	10	1	15			1	7		11	69
	10 倍 を 越 え 50 倍 以 下		3	12	35	1	20			2	21	2	17	113
	50 倍 を 越 え 100 倍 以 下		2	3	24		4				10			43
	100倍を越え 150 倍 以 下		3	3	4		1				10			21
	150倍を越え 200 倍 以 下				8		1				6			15
	200倍を越え 1,000倍以下		4	1	5						9			19
	1,000 倍 を 越 える も の		1										1	2
種 別	単 独	第 1 類												0
		第 2 類												0
		第 3 類												0
		第 4 類	11	71	95	5	75		31	4	66	1	49	408
		第 5 類												0
		第 6 類			1									1
	混 在		3	4								1		8

危険物申請の状況

(平成23年度)

		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			合 計
			屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	給 油	販 売	一 般	
許 可	設 置		3		1							1	5
	変 更	17	1	2	1	1		2		15		13	52
完 成	設 置		3		1							2	6
	変 更	17	1	2	2	2		2		17		8	51
廃 止			2			2		2		2			8

危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱の数

(平成23年度)

製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			仮 貯 蔵	仮 取 扱	合 計
	屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	給 油	販 売	一 般			
17	1	2	1	1				15		6		2	45

手数料徴収状況

(平成23年度)

仮貯蔵	仮取扱	仮使用	設置許可	変更許可	完成検査	水張検査	水圧検査	合計
	11	221	98	1,483	807		110	2,730

(単位:千円)

火災予防条例等各種届出件数

(平成23年度)

	防火対象物使用開始届	少量危険物貯蔵取扱届	少量危険物貯蔵取扱廃止届	変電・発電・蓄電池設備設置届	炉・ボイラー設置届	指定可燃物貯蔵取扱届	指定可燃物貯蔵取扱廃止届	乾燥・厨房・サウナ設置届	ネオン管・火花発生装置設置届	温風・給湯設備設置届	ヒートポンプ・放電加工設置届	煙火打ち上げ届	催物開催届	椅子席固定免除申請書	火災とまぎらわしい届	気球設置届	喫煙等の使用申請書	防火管理者選解任届	消防計画作成届	防火対象物点検結果報告書	消防用設備等点検結果報告書	消防訓練実施通知書	合計
消 防 署	41	14	14	14	9			2		15		13	3	51			18	76	88	36	440	176	1,010
東 分 署	21	10	7	11	13	5	5	3			3	11	2		7		1	57	76	8	232	141	613
北 分 署	7	2	7	8		1	1			1		17	3		3		3	33	48	8	121	77	340
合 計	69	26	28	33	22	6	6	5	0	16	3	41	8	51	10	0	22	166	212	52	793	394	1,963

立入検査実施状況

(平成23年度)

種 別	実 施 日	実 施 数
指定文化財立入検査	1月	34対象物
防火対象物立入検査	年間を通じて随時	292対象物

防火指導状況

(平成23年度)

対 象	事 業 内 容	実 施 日	実 施 状 況
高齢者	高齢者宅 防火訪問	8月、11月、3月	300軒
	高齢者大学 防火研修会	7月	120人
自治会等	安心安全講座	年間を通じて随時	66回、3,133人
防火対象物	消防訓練指導	年間を通じて随時	134回、8,341人
	乙種防火管理講習(新規)	2月	8人
	甲種防火管理講習(新規)	6月、2月	130人
	甲種防火管理講習(再講習)	7月	15人
その他	消防署見学	年間を通じて随時	31回、1,348人
	起震車体験会	年間を通じて随時	31回、1,957人

(平成23年度)

養成講座	自主防災リーダー養成講座	8月	3回、175人
	防火アドバイザー養成講座		



予防戦士
ジューケイキマン

広報活動状況

(平成23年度)

広 報 活 動 内 容	回 数
1 巡回広報	87回
2 街頭広報	1回
3 報道機関への情報提供	3回
4 固定放送設備による広報	18回
5 ホームページによる広報	随時

※主な広報 毎月1日『防火の日』の広報、乾燥時期の広報、夏休み事故防止の広報、年末特別火災予防広報、消火器に関する広報、各種運動期間中の広報など。

幼年消防クラブ活動状況

◎目的

幼児に消防研修を行うことにより、防火に対する正しい知識を身につけ、各幼稚園、保育園及び各家庭からの火災の減少を図るとともに、将来人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地を育成することを目的とする。

	クラブ数	クラブ員
保 育 園	33	2,552人
幼 稚 園	8	451人

◎平成23年度実施事業

実 施 事 業	内 容
幼年消防クラブ指導者研修会(年2回実施)	普通救命講習、防火指導に関する研修、火災実験研修
巡回防火教室、起震車体験会	幼年期における防火防災学習
消防出初式、防火防災パレード	火災予防を広報し、市内をパレードする。



通信指令室



覚知別集計

(平成23年中)

	災害区分	当年件数	119一般	119携帯	119IP	加入電話	福祉電話	駆け付け	自己覚知	事後聞知	消防無線	転送受信
火災	一般建物	19	4	6	6	1	1		1			
	車両	13		10	1	1				1		
	林野	0										
	その他	16	3	4	4	1				3		1
	小計	48	7	20	11	3	1	0	1	4	0	1
救急	火災	7		2	1	1						3
	自然災害	1		1								
	水難	7	3	2		1						1
	交通	443	42	274	18	80			7			22
	労働災害	31	14	10	5	2						
	運動競技	28	6	13	1	5		2				1
	一般負傷	457	236	119	71	27	2	1	1			
	加害	13	1	3	1	6						2
	自損	38	10	15	5	5					1	2
	急病	2,230	1,218	508	360	107	11	6	1		5	14
	転院搬送	261	83	6	18	150			1			3
	医師搬送	14		2	2		3					7
	資材搬送	0										
	その他	29	7		3	3	15					1
	小計	3,559	1,620	955	485	387	31	9	10	0	6	56
救助	火災	17	4	6	5		1		1			
	交通事故	49	4	25	5	13						2
	水難事故	7	5	1		1						
	自然災害	1		1								
	機械事故	4	2	1	1							
	建物事故	0										
	ガス・酸欠	0										
	その他	8	1	2	2	2						1
	小計	86	16	36	13	16	1	0	1	0	0	3
警戒	自火報発報	23	4	5		13						1
	怪煙調査	23	3	5	1	14						
	油漏れ	12		5		5						2
	ガス漏れ	0										
	自然災害	5		1		4						
	異臭調査	3		1		2						
	その他	15	3	5		6	1					
	小計	81	10	22	1	44	1	0	0	0	0	3
その他	訓練	94	5	77	3	1	2					6
	病院紹介	48	23	21	4							
	問い合わせ	484	140	213	131							
	誤報	148	53	63	32							
	いたずら	605	49	427	129							
	119試験	5,981	4,995	818	168							
	通報訓練	401	258	86	57							
	重複	164	43	101	20							
	まちがい	114	35	61	18							
	取り消し	154	22	75	57							
	その他	843	144	373	326							
	小計	9,036	5,767	2,315	945	1	2	0	0	0	0	6
携帯転送・伝達	舞鶴転送	0										
	綾部転送	9		9								
	中部転送	2		2								
	篠山転送	3		3								
	丹波転送	2		2								
	豊岡転送	2		2								
	朝来転送	1		1								
	綾部伝達	1		1								
	丹波伝達	0										
	小計	20	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0
合	計	12,830	7,420	3,368	1,455	451	36	9	12	4	6	69

※119携帯は携帯転送受信を含む

署・分署別指令状況

(平成23年中)

	消防署	東分署	北分署	合 計
火 災	22	18	8	48
救 急	1,811	1,024	724	3,559
救 助	36	20	30	86
警 戒	38	30	13	81
合 計	1,907	1,092	775	3,774

月別指令状況

(平成23年中)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災	3	3	5	12	3	2	4	4	4	6	1	1	48
救 急	341	257	285	268	305	294	310	329	266	317	270	317	3,559
救 助	11	7	7	10	8	5	8	7	4	6	6	7	86
警 戒	7	12	4	4	10	4	5	12	7	11	3	2	81
合 計	362	279	301	294	326	305	327	352	281	340	280	327	3,774

ドクターヘリ要請件数

(平成23年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2	4	2	4	5	1	0	2	5	3	0	1	29

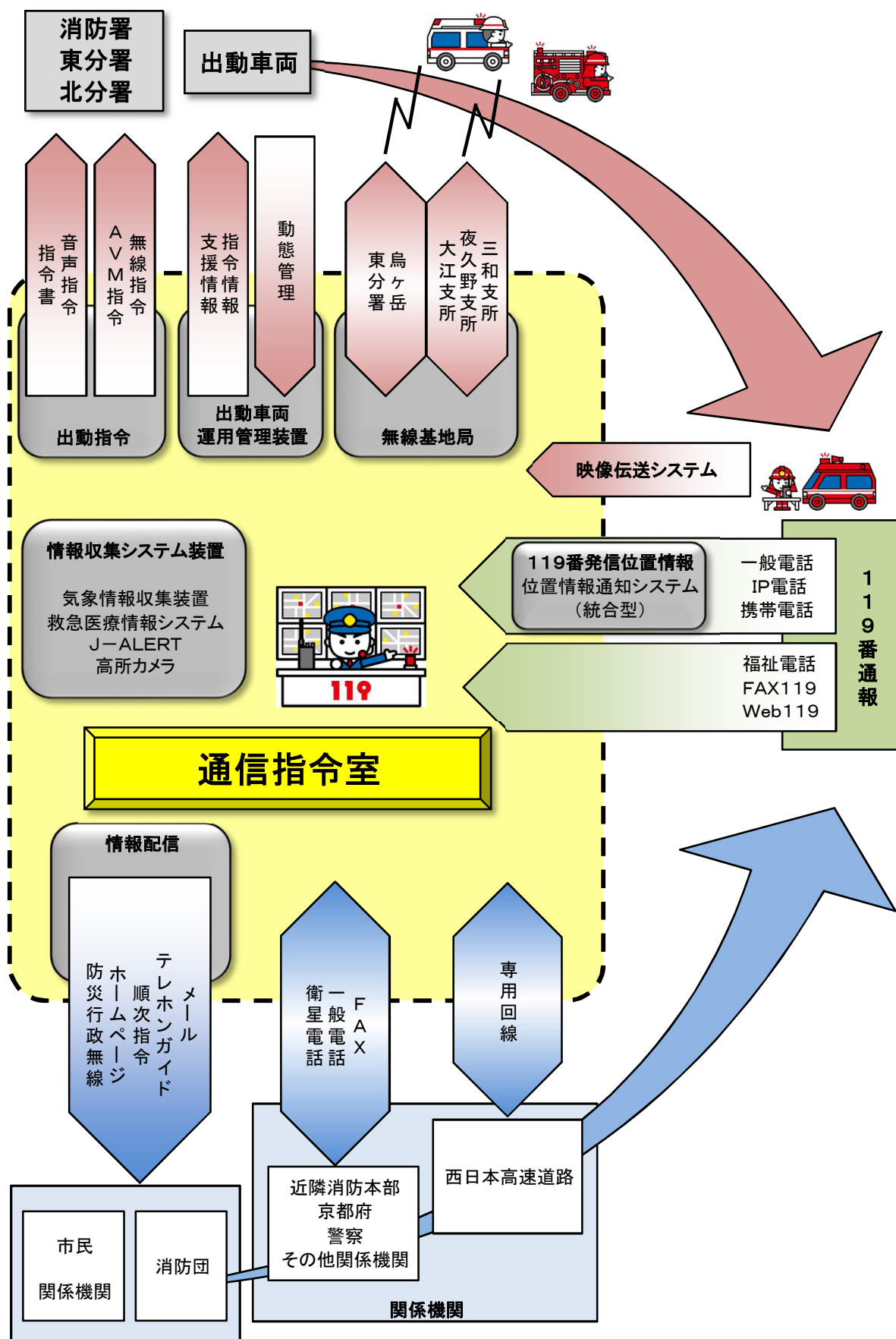
消防通信施設の現況

(平成24年4月末現在)

名 称	数	備 考
通 報 受 付 回 線		
119番回線数(固定・IP)	2	ISDN2回線 計4CH
119番回線数(携帯)	2	ISDN2回線 計2CH
衛星回線(119迂回回線)	2	2回線
IP-VPN回線	2	位置情報通知システム用
福祉電話回線	2	大江町・福知山市
福祉FAX	1	旧システム分
携帯転送用	1	ISDN1回線
西日本高速道路(舞鶴若狭自動車道)	1	専用回線
情 報 伝 達 用 回 線		
順次指令回線	2	アナログ1回線 ISDN1回線 計1回線+2CH
災害状況等自動案内	6	
携帯電話	12	
無 線		
基地局	5	烏ヶ岳、東分署、三和支所、夜久野支所、大江支所
使用無線波		市町村波1・2 救急波 府共通波 全国波1・2・3 防災相互波
指 令 シ ス テ ム 主 要 装 置		
指令台	2台	
指揮台	1台	
表示盤	1式	55インチ液晶ディスプレイ 12面
無線統制台	1台	
署所施設	3式	署所端末および指令情報出力装置
気象情報収集装置	1式	
災害状況等自動案内装置	1式	
順次指令装置	1式	
出動車両運用管理装置 (1)経路検索装置 (2)車両運用端末装置	1式 20式	車外設定端末装置は10式
位置情報通知システム	1式	統合型
Web119受信装置	1式	
FAX119受信装置	1式	
高所監視カメラ	2式	
映像伝送システム	1式	車載1 可搬3 ハンディ3
Eメール指令装置	1式	
ホームページ	1式	災害出動情報を自動連動して掲載
情報共有表示盤	7式	50インチ液晶ディスプレイ
消防OA	14台	Webサーバ方式
防災行政無線等集中制御装置	1式	防災行政無線接続・連動用
総合行政情報システム接続装置	1式	住民基本台帳接続・連動用
そ の 他 の シ ス テ ム		
防災行政無線	1	遠隔制御卓・可搬型
医療情報端末装置	1	
豊富用水監視システム	1	
京都府衛星電話	1	
J-ALERT	1	

消防通信指令系統図

平成24年4月末現在



消防団



消防団の沿革

(平成24年4月1日)

○昭和22年11月1日	消防団令の制定交付により警防団を廃止。福知山市消防団が結成される 団長 吉田庄兵衛 就任 【消防団の勢力】6分団（惇明・昭和・大正・雀部・庵我・修斉） 団員 697 名 ポンプ車 6 台 手引ガソリンポンプ 12 台
○昭和23年8月12日	団長 石坪一久 就任
○昭和24年4月1日	3村合併（西中筋村・下川口村・上豊富村）により9分団となり、消防団定員 1,000 人、実員 1,123 人となる。ポンプ車 5 台、ガソリンポンプ 21 台、腕用ポンプ 45 台の消防力となる
〃 10月1日	惇明・昭和分団が統合し、中央分団と名称を変更 消防団定員 1,000 人、実員 1,053 人
○昭和30年4月1日	8村合併（上六人部村・中六人部村・下六人部村・上川口村・金谷村・三岳村・金山村・雲原村）により、分団数 16、消防団員定数及び実員 1,850 人、ポンプ車 7 台、手引ポンプ 45 台、可搬動力ポンプ 18 台、腕用ポンプ 60 台の消防力となる
〃 4月6日	団長 足立秀夫 就任
〃 9月30日	上豊分団は京都府知事表彰調査を受検 12月22日表彰旗を授与された
○昭和31年9月30日	何鹿郡佐賀村が、福知山市と綾部市に分村合併 【消防団の管轄区域】面積 264.24k m ² 、人口 63,220 人 【消防団の勢力】17分団、定員 1,780 人、実員 1,775 人 ポンプ車 8 台 手引ポンプ 43 台 可搬ポンプ 23 台 腕用ポンプ 60 台
○昭和33年3月7日	自治体消防発足 10 周年記念式典並びに大火想定演習を市街地で実施
〃 7月1日	団長 藤原定治 就任
○昭和35年11月20日	上川分団、京都府消防協会会長優良消防団表彰調査を受検 12月1日表彰旗を授与される
○昭和37年1月6日	上六分団、中六分団、金山分団に婦人消防隊が結成される
〃 4月8日	金谷分団に婦人消防隊が結成される
○昭和38年4月1日	団長 今川武左エ門 就任
○昭和40年10月1日	消防団員条例定数 1,400 人、実員 1,388 人
○昭和42年4月1日	団長 芦田太郎 就任
○昭和44年4月1日	【消防団の勢力】17分団、定員 1,400 人、実員 1,359 人 消防ポンプ自動車 9 台 手引ポンプ 8 台 小型動力ポンプ 65 台

○昭和45年 7月 3日	消防団の機動化と近代化のため、小型動力ポンプ付積載車の配置を開始
〃 10月 5日	西中分団、修斉分団、上六分団へ各1台配置 下川分団は京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12月1日表彰旗を授与された
○昭和46年11月 1日	下川婦人消防隊結成、隊員47名
○昭和48年 4月 1日	団長 森下文男 就任
○昭和51年 4月 1日	団長 大槻増次 就任
〃 6月14日	消防団本部を市役所庁舎へ移す 住所 福知山市字内記13番地の1
○昭和53年 8月22日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に俺我分団が出場し準優勝の成績を収める
○昭和54年 3月 5日	福知山市消防本部、消防団に災害の防除と消防力の強化に努め、成績優秀であるという理由で消防庁長官の竿頭綬を授与された
〃 4月 1日	福知山市消防団互助会制度を発足、弔慰金、見舞金の給付制度を設ける
○昭和55年11月 9日	俺我分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12月1日に表彰旗を授与された
○昭和56年 4月 1日	団長 高橋昭治 就任
○昭和57年10月31日	西中分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和58年1月1日表彰旗が授与された
○昭和60年 5月30日	消防団本部の円滑な運営と各分団の消防技術の向上を図るため、消防団本部要員制度を設ける
〃 8月 8日	日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車の寄贈を受け、西中分団へ配置
〃 10月 6日	消防庁長官表彰を受検 於 市民第2グラウンド
	人 員 消防職員 85名
	消防団員 1,348名
	婦人消防隊 40名
	車 両 ポンプ車 10台
	積載車 36台
	小型動力ポンプ 34台
○昭和61年 3月	消防庁長官表彰受賞
〃 5月 1日	団長 吉竹 孝一郎 就任
〃 9月28日	雀部分団京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和62年1月1日表彰旗が授与された
○昭和62年10月 1日	下六分団京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和63年1月1日に表彰旗が授与された
○昭和63年10月13日 ～19日	京都国体警備。内福知山市分16～19日
〃 10月26日	金谷婦人消防隊が全国婦人消防操法大会（横浜市）参加
〃 10月30日	大正分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和64年1月1日に表彰旗が授与された

○平成 元年 10月15日	上六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成2年1月1日表彰旗が授与された
○平成 2年 5月 1日 " 10月21日	団長 関 宏躬 就任 修斉分団と金谷分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成3年1月1日表彰旗が授与された
○平成 3年 4月 1日 " 10月13日	消防団員条例定数 1,250 人、実員 1,214 人となる 三岳分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成4年1月1日表彰旗が授与された
○平成 4年 8月31日 " 11月 1日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に下六分団が出場し、第6位の成績を収める 佐賀分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成5年1月1日表彰旗が授与された
○平成 5年 10月31日	中六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成6年1月1日表彰旗が授与された
○平成 6年 5月 1日 " 8月30日 " 10月30日	団長 衣川 武 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団が出場し、準優勝の成績を収める 雲原分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成7年1月1日表彰旗が授与された
○平成 7年 11月12日	金山分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成8年1月1日表彰旗が授与された
○平成 8年 7月 1日 " 7月25日 " 10月13日	消防団員アルミックス防火衣を 129 着分支給 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団が出場し、奨励賞の成績を収める 中央分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成9年1月1日表彰旗が授与された
○平成 9年 9月 1日 " 10月12日	消防団員アルミックス防火衣を 185 着分支給 市制 60 周年（団発足 50 周年）記念事業（消防フェア福知山）開催
○平成 10年 8月 7日 " 12月10日 ~ 21日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に大正分団が出場 消防団に関する意識調査実施
○平成 11年 7月 1日 " 9月 9日	福知山市消防団活性化対策検討委員会規約制定 「より魅力ある消防団へ」検討委員会発足
○平成 12年 5月 1日 " 8月 6日 " 11月23日	団長 井上重典 就任 京都府消防操法大会小型ポンプの部に金谷分団が出場し、第5位の成績を収める アポロキャップを購入し、全団員に貸与
○平成 13年 10月 1日	「ふくちやまファイヤーエンジェルス」福知山消防カラーガード隊 17 人、福知山消防ファイヤーガード隊 13 人で発足
○平成 14年 1月24日	「ふくちやまファイヤーエンジェルス」京都府知事を表敬訪問

○平成14年 5月 1日	団長 野田和則 就任
〃 8月 4日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に雲原分団が出場
〃 10月27日	京都府知事優良消防団表彰調査を受検し平成15年2月2日に表彰旗が授与された
○平成15年11月20日	自治体消防55周年記念大会参加
○平成16年 5月 1日	団長 岸田正一 就任
〃 8月 1日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に庵我分団が出場
○平成18年 1月 1日	一市三町合併により、三和町消防団、夜久野町消防団及び大江町消防団を統合、新しい「福知山市消防団」となる 【消防団の勢力】 団 長 岸田正一 団本部ほか29分団、定員2,160人、実員2,065人 消防ポンプ自動車 12台 小型動力ポンプ付積載車 11台 小型動力ポンプ付軽積載車 77台 小型動力ポンプ 89台
〃 8月 6日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、大正・川合・上夜久野・河西分団が出場
○平成19年10月14日	市制施行70周年、福知山市消防団発足60周年及び救急業務運用開始40周年記念事業（消防防災フェア）開催 活動服を更新し、消防防災フェアで着用
○平成20年 4月 1日	団長 足立秀幸 就任
〃 7月27日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、佐賀分団が出場
○平成22年 4月 1日	団長 山田浩和 就任
〃 8月 1日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、河守分団が出場
○平成24年 3月21日	「新 福知山市消防団活性化計画」を策定

消防団員・消防団車両配置表

(平成24年4月1日)

		人 員											車 両 等			
ブ ロ ッ ク	分 団 名	合 計	団 長	※ 副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	本 部 長	指 導 部 長	本 部 班 長	部 長	班 長	団 員	ポ ン プ 車	積 載 車	軽 積 載 車	小 型 ポ ン プ
団本部		7	1	6												
ファイ エン ゾ エル ス	ファイヤーガード隊	9								1	1	7				
	カーガード隊	16								1	1	14				
中部	中央	72		1	1	1	1	1	2	6	12	48	1	5		
	大正	44			1	1	1	1	1	3	6	30	1	2		
	庵我	76			1	1	1	1	1	3	7	61		3		
	修斉	93			1	1	1	1	1	4	11	73		4	1	
	上豊	95			1	1	1	1	1	3	7	80		3		
東部	雀部	56		1	1	1	1	1	1	3	3	45		3		
	西中	83			1	1	1	1	1	3	5	70		4	1	
	上六	53			1	1	1	1	1	3	6	39		3		
	中六	54			1	1	1	1	1	3	6	40		3		
	下六	71			1	1	1	1	1	4	5	57		4	1	
	佐賀	47			1	1	1	1	1	2	4	36		2		
北部	下川	56		1	1	1	1	1	1	3	6	42		3		
	上川	70			1	1	1	1	1	2	6	57	1	2		
	金谷	65			1	1	1	1	1	2	6	52		2		
	三岳	51			1	1	1	1	1	2	6	38		2		
	金山	47			1	1	1	1	1	3	6	33		4		
	雲原	40			1	1	1	1	1	2	3	30		2		
三和	菟原	91		1	1	1	1	1	1	4	4	78		4		
	細見	114			1	1	1	1	1	5	6	98	1	4		
	川合	38			1	1	1	1	1	3	3	27	1	2		
	三和支所消防隊	8										8		1		
夜久野	上夜久野	84		1	1	1	1	1	1	4	9	66	1	4	1	
	中夜久野	55			1	1	1	1	1	3	6	41	1	2		1
	下夜久野	80			1	1	1	1	1	5	10	60	1	4		
	夜久野支所消防隊	6										6		1		
大江	河守	73		1	1	1	1	1	1	4	10	54		2	2	
	河守上	63			1	1	1	1	1	5	7	46		1	2	
	河西	40			1	1	1	1	1	3	6	26		1	1	
	河東	51			1	1	1	1	1	3	6	37		1	1	
	有路上	52			1	1	1	1	1	3	3	41		2	1	
	有路下	49			1	1	1	1	1	3	3	38		1	1	
	大江支所消防隊	7										7		1		
合計		1,916	1	6	29	29	29	29	30	98	180	1,485	8	82	12	1

※ 団本部の副団長は、各ブロックを担当

年齢別消防団員数

(平成24年4月1日)

年齢別	合 計	平均年齢	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上
人員	1,916	38.6	4	205	858	710	138	1

在職年数別消防団員数

(平成24年4月1日)

年数別	合 計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
人員	1,916	527	397	451	263	190	70	18



水 防



水防の概要

本市における水害として、由良川・土師川等の破堤・溢流による外水氾濫と、由良川への雨水排除ができない場合に生じる内水氾濫があります。福知山市が位置する福知山盆地は、非常に低く由良川と牧川の合流点付近では標高 12mに過ぎません。したがって、由良川等の堤防が決壊した場合には、本市全域にわたる広い範囲で外水による浸水被害が生じる危険があります。このような破堤による外水氾濫では、水位が急激に上昇するため、人的被害及び建物被害等が生じる危険性が高く、更に水位が下がるまでに長時間を要し、破堤箇所が修復されるまで再度浸水する危険にさらされるなど、被害の拡大が予想されます。

一方、内水氾濫の被害が起こりうるのは、河川の氾濫などでできた低地地形や回りから水が集まりやすい凹地などです。すなわち低地の微地形でいうと、谷底平野、氾濫平野、後背湿地、旧河道などです。このような地形では雨水が集まりやすく、水害の危険性は最も高くなります。しかし、支流和久川改修、法川排水機場の完成等によって、内水氾濫はほぼ解消され、また、本川の築堤や掘削も着々と進み、市民の水害から免れたいという悲願は実りつつあります。

しかしながら、平成 16 年の台風 23 号では、10 月 19 日より断続的に降り始めた雨により総雨量 279 mmに達し、由良川の水位も上昇し、20 日の 15 時には指定水位の 2 mを、17 時には警戒水位の 4 mを突破し、22 時 20 分には、最高水位 7 m55cm を記録しました。このような状況下において、農村部では河川の氾濫や堤防の欠損・溢水が起こり、家屋・耕地・主要道路の浸水などの被害が多く出るとともに、山間部においては崖崩れが生じました。

【主な水害の記録】

明治 29 年 8 月 31 日	水 位 7.88m	倒壊流失家屋	371 戸	死傷者 200 名
明治 40 年 8 月 26 日	水 位 8.48m	倒壊流失家屋	350 戸	
大正 10 年 9 月 26 日	水 位 7.36m	倒壊流失家屋 浸水家屋	67 戸 3,058 戸	死傷者 7 名
昭和 5 年 8 月 1 日	水 位 7.12m	倒壊流失家屋 浸水家屋	30 戸 3,006 戸	
昭和 20 年 10 月 9 日 (阿久根台風)	水 位 6.00m 総雨量 95.0mm	倒壊流失家屋 浸水家屋	111 戸 5,083 戸	死傷者 5 名
昭和 28 年 9 月 25 日 (台風 13 号)	水 位 8.10m 総雨量 254.3mm	倒壊流失家屋 浸水家屋	1,664 戸 3,836 戸	死傷者 792 名
昭和 34 年 9 月 26 日 (伊勢湾台風)	水 位 7.10m 総雨量 243.0mm	倒壊流失家屋 浸水家屋	113 戸 5,117 戸	負傷者 26 名
昭和 36 年 9 月 16 日 (第二室戸台風)	総雨量 43.0mm	倒壊家屋 浸水家屋	76 戸 19 戸	死傷者 9 名
平成 16 年 10 月 20 日～ 21 日 (台風 23 号)	水 位 7.55m 総雨量 279.0mm	倒壊家屋 (半壊、一部損壊) 浸水家屋	63 戸 844 戸	

水防組織と機構

水防本部長（市長）
水防副本部長（副市長）

消防部は、消防本部及び消防団本部をもって指揮班、消防署及び消防団をもって水防班を編成し、各分団は水防中隊とする。

消防部

1 指揮班（本部）

- （１）災害の予防対策
- （２）災害情報の収集
- （３）災害信号の発令及び周知
- （４）被害状況の速報
- （５）市防災無線の運用
- （６）災害の場合における消防団活動の調整及び指示

2 水防班（消防署、消防団）

- （１）災害の場合における消防団活動の調整及び指示
- （２）避難者の誘導
- （３）人命及び財産の保護
- （４）不明者の搜索
- （５）水防作業員資材及び避難者の輸送運搬
- （６）水防資材の整備及び調査
- （７）消防資材及び施設の整備点検

企画政策部	企画推進班 情報推進班 まちづくり推進班 広報班
総務部	総合調整班 動員班 三和支所班 夜久野支所班 大江支所班 会計班
財務部	管財契約班 地区統括班 調査班
福祉保健部	救助第一班 救助第二班 救助第三班 救護第一班
市民人権 環境部	生活交通班 食糧班 救護第二班 環境政策班 人権推進班
消防部	指揮班 水防班
農林商工部	農林管理班 農業振興班 林業振興班 商工班 観光班 産業班
土木建設部	土木班 建築班 都市計画班 駅周辺整備班 都市整備班
下水道部	管理班 維持班
教育部	教育総務班 学校教育班 生涯学習班
ガス水道部	総務班 営業班 ガス班 水道班
病院事務部	病院総務班 病院医事班

トピックス



～3つの機能を備える、福知山市の消防・防災の拠点～ 福知山市消防防災センター

平成24年5月1日運用開始

建設の目的

過去の災害を忘れず、市民のみなさまとともに築く災害に強いまちづくりの推進

消防防災センターは、築49年を経過し老朽化した消防署の建て替えと同時に、全国各地で多発する災害や、平成16年台風23号災害の教訓を忘れず、市民のみなさまとともに災害に強い福知山市を築き上げるための拠点施設として整備したものです。

『消防本部、消防署』を併設し、24時間体制で福知山市の安心・安全を確保するとともに、市民防災研修施設である『防災センター』では、市民のみなさまに災害から命を守るための力を身につけていただくとともに、自主防災組織の結成、育成強化を目指します。

また、災害時には、災害情報や避難情報の迅速な発信を行うとともに、市役所被災時の第2災害対策本部としての機能も兼ね備えます。

市民のいのちと暮らしを守る

- 消防本部
- 消防団本部
- 消防署
- 消防指令センター

消防機能

FUKUCHIYAMA
CITY
DISASTER
PREVENTION
CENTER

市民防災
研修機能

災害対策
機能

自分たちのまちは、
自分たちで守る

市民防災研修施設『防災センター』

- 防災シアター
- 語り部映像
- 防災体験学習（地震・水害等）
- 消火・煙・救命体験
- 防災研修室

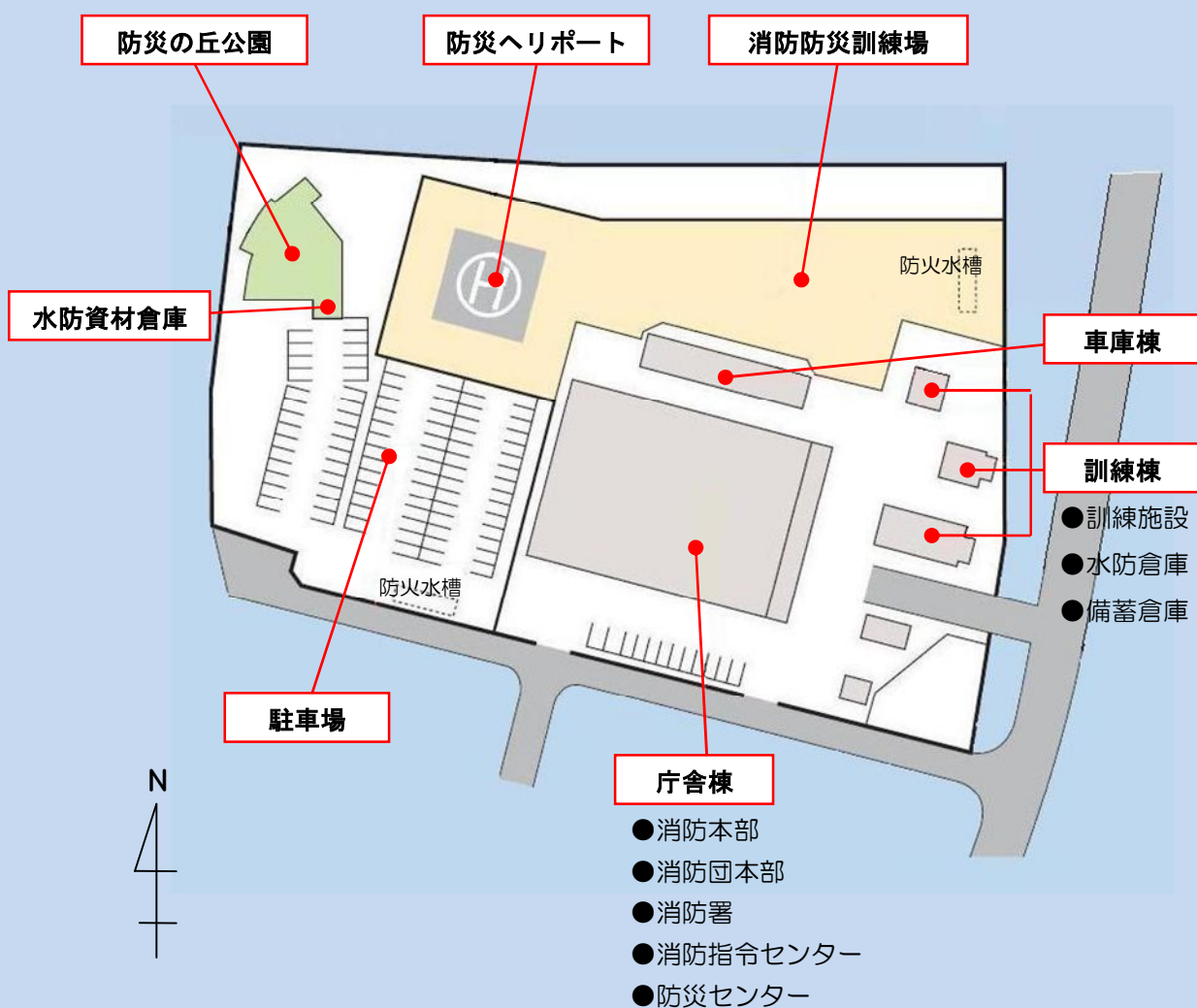
大規模災害への万全の備え

- 第2災害対策本部
- 情報発信機能の2重化対策
- 防災ヘリポート
- 緊急消防援助隊等の活動拠点（防災広場）



施設配置図

敷地全体を有効に活用し、『消防機能』『市民防災研修機能』『災害対策機能』を一体的に整備。



■施設概要

敷地面積：25,149 m²

延床面積：4,157.37 m²（庁舎棟 3,109.86 m² 訓練棟他付属建物 1,047.51 m²）

構 造：鉄骨造（庁舎棟）・鉄筋コンクリート造（訓練棟）

構 成：庁舎棟（消防本部・消防団本部・消防署・通信指令センター・防災センター）
 付属建物（訓練棟・水防倉庫・備蓄倉庫・車庫棟・燃料庫）
 防災広場（防災ヘリポート・消防防災訓練場・水防資材倉庫・防災の丘公園）

1F 消防署(警防課・予防課)、消防車庫



事務室



出動準備室



仮眠室



火災調査室



乾燥室



洗浄室



消防車庫



2F 消防本部、消防指令センター

119番通報の受付・出動指令・災害情報の収集伝達・無線統制等の業務を行う消防指令センター。システムを一新し、より高機能な消防指令センターとなりました。



消防本部室



消防指令センター

2F 防災センター

災害に対する危機意識を身につける防災シアターや語り部映像。災害から自分たちの命を守るための力を身につける体験ゾーン。市民のみなさまが、それぞれの家庭や地域で防災活動を推進し、災害に強い福知山市をつくるための防災研修施設です。



防災センター全景



語り部映像



水圧体験車



煙体験



通報体験



消火体験



救急救護対策



水害対策



地震対策



防災研修室



防災シアター

庁舎棟 配置図



1F



2F

訓練棟

訓練棟A～C、水防倉庫、備蓄倉庫

訓練棟A



A棟

A棟・B棟・C棟からなる訓練棟は、建物全体を有効に活用し、あらゆる災害現場を想定した実戦的な訓練が実施できます。特にC棟では、実際の火災現場に近い状況（熱・煙・炎）の中での訓練が可能です。また、B棟は水防倉庫や、備蓄倉庫としても活用します。



A棟内部(2F)



訓練棟全景



訓練棟B



B棟



水防倉庫(1F)



B棟(3F)



備蓄倉庫(2F)



訓練棟C



C棟



濃煙熱気室(1F)



C棟(3F)



火災消火訓練室(2F)



防災広場

防災ヘリポート、消防防災訓練場、防災の丘公園



消防防災訓練場

防災ヘリポートを備えた防災広場は、平常時は、「自主防災組織や消防団等の訓練場」や「防災に触れながら憩うことのできる公園」として、また、災害発生時には、「防災機関の集結地や活動拠点、物資・人員の輸送拠点」として活用します。



防災ヘリポート



水防資材倉庫



採水口・送水口(訓練用)



消火栓(訓練用)



防火水槽



防災の丘公園



防災東屋



マンホールトイレ(災害用)

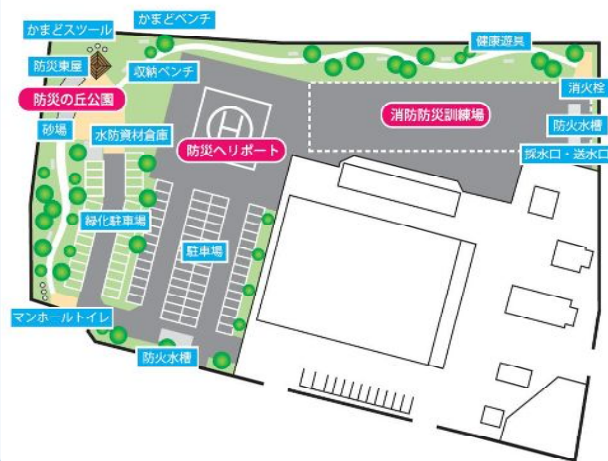


かまどベンチ(災害用)



健康遊具

防災広場配置図



平成23年版 消 防 年 報

〒620-0933 京都府福知山市東羽合町46番地の1
福知山市消防本部

TEL 0773-24-0119 / FAX 0773-22-5458

URL <http://119.city.fukuchiyama.kyoto.jp>

e-mail syoubou@city.fukuchiyama.kyoto.jp

携帯サイト <http://119.city.fukuchiyama.kyoto.jp/m>

携帯サイト
QRコード

